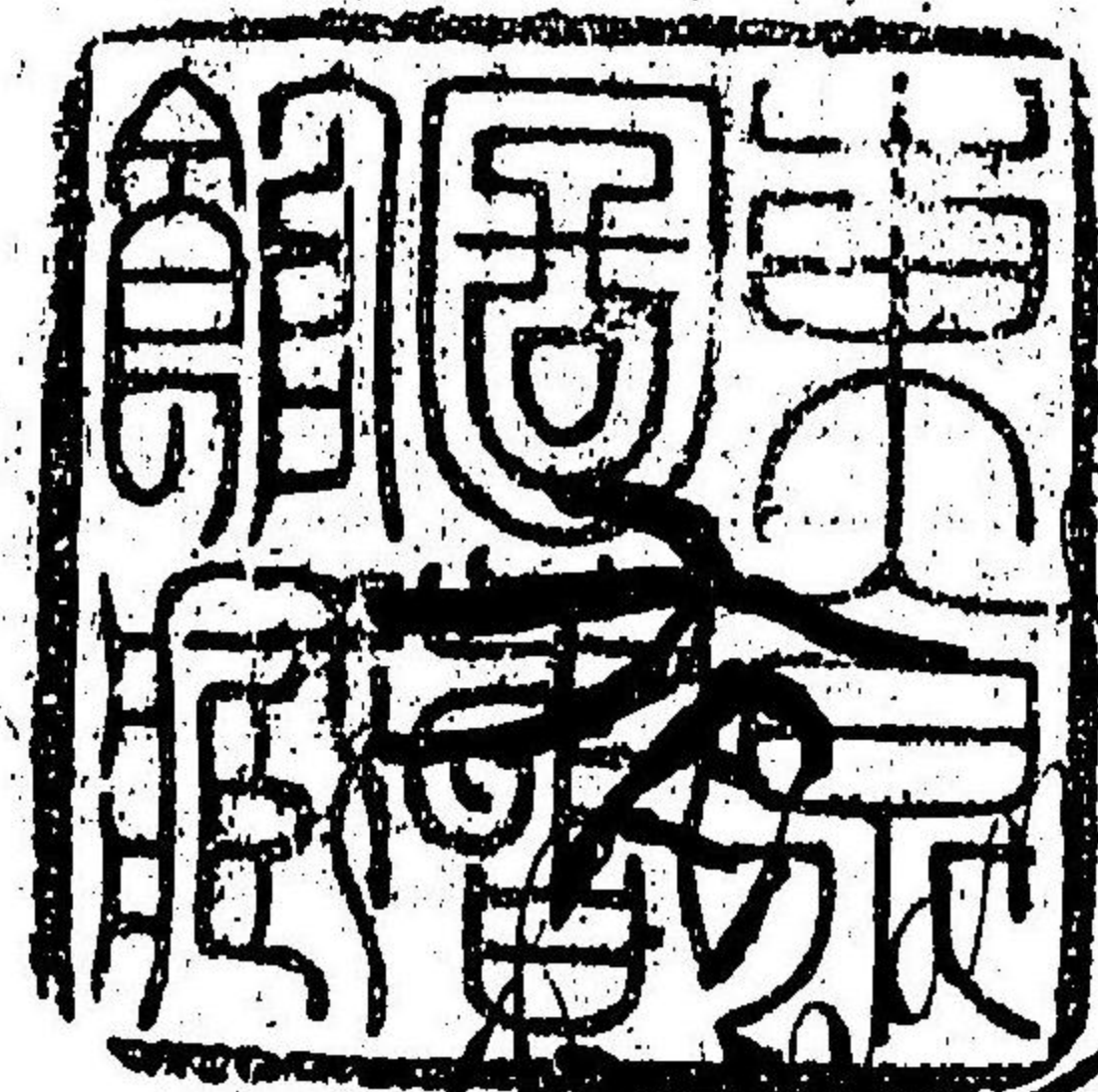


34-238

No 448/xxvi



成島
山

謙吉
鈞

合著

著者版權所有

鳥類圖譜

*By G. Miyama
of Tokyo
Boroku Zasshi-sha
Tokyo*

1893



例言

- 一本書は廣く世人に用ひ供ふるを以て目的とし且記憶ニ便せしむるを計りたるが故ニ鳥ノ軀貌羽色等ヲ記スルハ特ニ其要點ニ止メ而シテ行文措辭ヲ如キハ務メテ簡潔平易ヲ旨トセリ
- 一本書ハ材料ヲ内外ノ書ニ取り且實物ニ就テ編次シ加フルニ動物學ノ専門家タル飯島理學博士ノ査閱ヲ請ヒタレバ其誤謬ナキハ固ヨリ信ジテ疑ハズル所ナリ
- 一毎鳥學名並ニ英名佛名ヲ掲グ又本邦名ニ其羅馬字ヲ以テ音譯ヲ加ヘタレバ各學校ノ參考用ニシテ亦有要ノ書トシ得ルベシ
- 一毎圖寫生ナルガ故ニ繪畫ニ從事スルモノ、臨本ニモ適用スルヲ得ルベシ

例言

一本書ニ掲載スル所ノ鳥類ハ左ノ如シ

一 燕四種 雲雀 日雀

一 鶺鴒二種 四十雀

一 五十雀 革雀 鷓鴣 大木官製

一 杜鵑 啄木鳥二種 鷓鴣二種 鷓鴣

一 棕鳥 田鵲 雉

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

一 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒 鶺鴒

リ蓋シ其舉示スル所ニ就テ他ヲ類推スベケレバナリ
一各鳥ノ蕃殖期ハ大抵諸府縣ノ調査ニ由リテ之ヲ記ス然
レドモ其本邦ニ蕃殖セズ又其未詳ナラザルモノハ一切
之ヲ省ケリ

著者識

有益鳥類圖譜

目次

- 第一 たんてう
- 第二 まあづる
- 第三 あべづる
- 第四 つさめ 又 つばはくろめ
- 第五 いかつばめ 又 いはまきつばめ
あなぐらつばめ
- 第六 とつくりつばめ 又 こしあか
- 第七 せうどつばめ 又 すなじやうつばめ
- 第八 ひさり
- 第九 きせきれい 又 ませきれい
- 第十 うはみせきれい 又 はくせきれい

目次

第十一 じぞふから
 第十二 ひがら
 第十三 ぶぞふから 又きまわり
 第十四 おほよじきり 又よしはらすめ
 第十五 みぞきり
 第十六 ほとぎ
 第十七 あらげら
 第十八 せげち
 第十九 じようびたき
 第二十 ろりびたき 又ゆきびたき
 第二十一 むくどり
 第二十二 たひさり
 第二十三 きじ 唯雄

第二十四 やまどり 唯雄
 第二十五 うづら
 第二十六 ひじくひ
 第二十七 まがん
 第二十八 まがも 又あをくひ 唯雄
 第二十九 あるがも 又なつかも 唯雄
 第三十 をむどり 唯雄
 第三十一 よじかも 唯雄
 第三十二 こがも 唯雄
 第三十三 あぢがも 又ともふがも 唯雄
 第三十四 をあがも 唯雄
 第三十五 ひげりがも 又あかしら 唯雄
 第三十六 ちじぎ 又たしぎ

目次

三

第三十七	やましき 又ほとしき
第三十八	さん
第三十九	くゞひ 又はくちてう
第四十	ひよどり
第四十一	つぐま 又ちようま
第四十二	まらさき 又こさき いっばい
第四十三	あをさき 又みそさき
第四十四	ちうさき 又しまめやり
第四十五	よしこね 又ぼんのうさき
第四十六	こねさき 又せやろこね、ほしこね、 なべかぶり
第四十七	きじをと
第四十八	もせ
第四十九	かしどり 又かけす

第五十 かつくひか 又ひくひな

有益鳥類圖譜目次 畢

目次

CONTENTS

No. 1	Tancho.
No. 2	Manazuru.
No. 3	Nabetsuru.
No. 4	Tsubame, Tsubakuro, Tsubakurame.
No. 5	Iwa-tsubame, Iwanaki-tsubame, Anagura-tsubame.
No. 6	Tokkuri-tsubame, Koshuaka.
No. 7	Shodo-tsubame, Sunamuguri-tsubame.
No. 8	Hibari.
No. 9	Ki-sekirei, Ma-sekirei.
No. 10	Usuzumi-sekirei, Haku-sekirei.
No. 11	Shijūkara.
No. 12	Higata.
No. 13	Gōjūkara, Kimawari.
No. 14	Ōyoshikiri, Yoshiwarasuzume, Giyo-giyoshi.
No. 15	Misosazai.
No. 16	Hotoogisu.

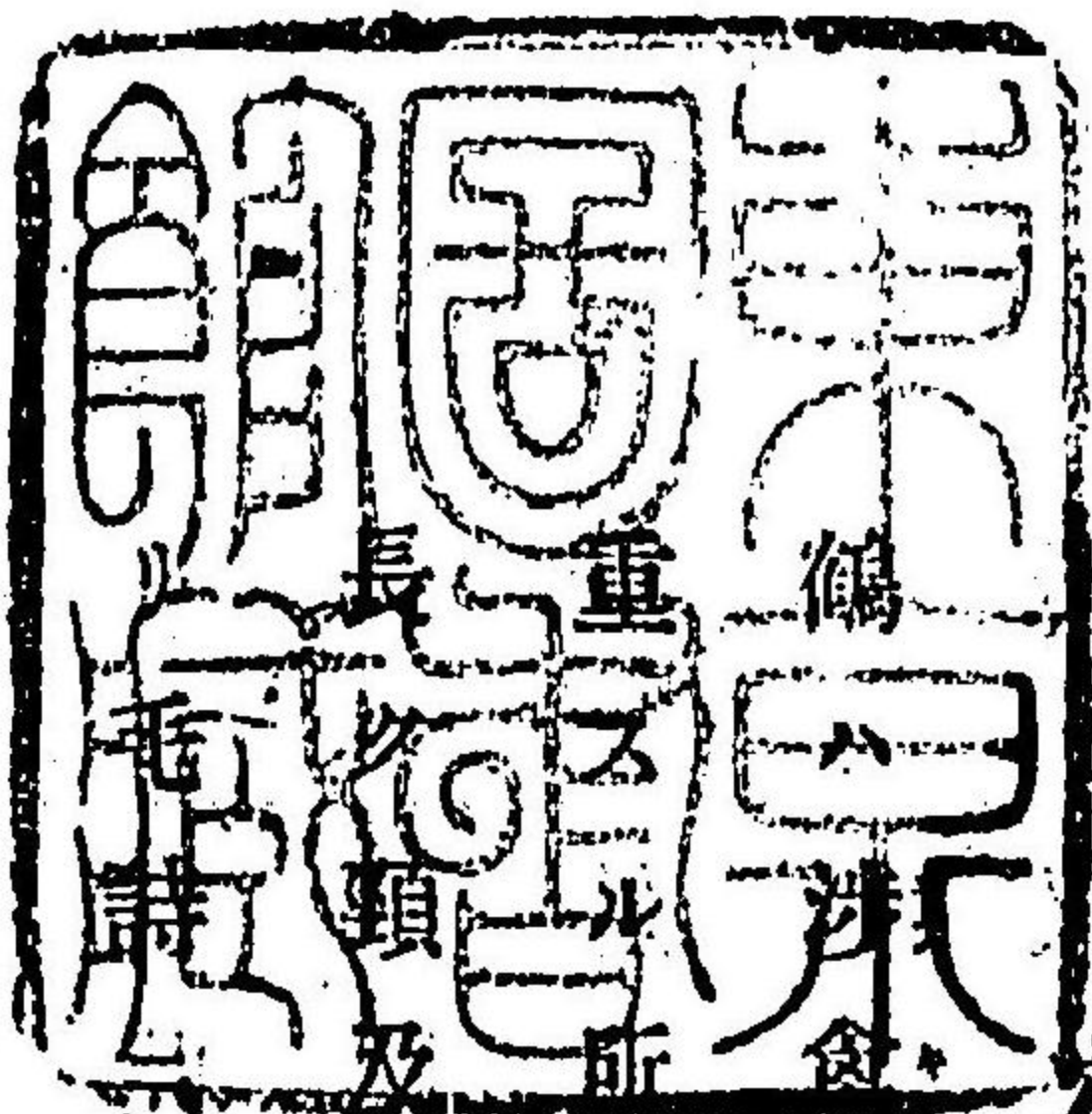
No. 17	Akagera.
No. 18	Kogera.
No. 19	Jō-bitaki.
No. 20	Ruri-bitaki.
No. 21	Mukudori.
No. 22	Tahibari.
No. 23	Kiji.
No. 24	Yamadori.
No. 25	Uzura.
No. 26	Hishikui.
No. 27	Magan.
No. 28	Ma-gamo.
No. 29	Karu-gamo, Natsu-gamo.
No. 30	Oshidori.
No. 31	Yoshi-gamo.
No. 32	Ko-gamo.
No. 33	Tomoye-gamo, Aji-gamo.

No. 34	Onaga-gamo.
No. 35	Hidori-gamo, Akagashira.
No. 36	Ji-shigi, Ya-shigi, Ma-shigi.
No. 37	Yama-shigi, Boto-shigi, Yabu-shigi.
No. 38	Ban.
No. 39	Kugui, Hakuobō.
No. 40	Hiyodori.
No. 41	Tsugumi, Chōma.
No. 42	Shira-sagi, Ko-sagi, Ippai.
No. 43	Ao-sagi, Miso-sagi.
No. 44	Chū-sagi, Shimameguri.
No. 45	Yoshigo, Bonnō-sagi.
No. 46	Goi-sagi, Segurogoi, Hoshigo, Nabekaburi.
No. 47	Kiji-bato.
No. 48	Mozu.
No. 49	Kashidori, Kakesu.
No. 50	Natsu-kuina, Ii-kuina.

有益鳥類圖譜

成鳥謙吉 合著

叔山鈞



鶴

族ニシテ本邦ニテハ之ヲ靈鳥トナシ古來人ノ尊
 ノモノナリ其形貌ヲ略記センニ體軀大ニシテ嘴
 長ク頸及ビ脚モ亦細長ナリ羽色ハ種類ニ由テ各相異ナレ
 モ鶴鳴九皋聲聞于天ナド、アリテ其鳴聲ノ嘹亮
 ニシテ遠キニ達スルハ人ノ能ク知ル所ナルガ是ハ其氣管
 ノ構造ニ因ルモノニシテ蓋シ其氣管タル極メテ長ク胸骨
 ノ龍骨中ニ卷旋シ宛モ渦卷狀ヲ爲セルガ故ナリ抑モ鶴ハ
 洲渚又ハ田澤ノ畔ニ棲息シテ魚類爬蟲等ヲ啄ミ或ハ種實

鶴

二

水草ヲ食スルモノナリ然レドモ永ク一所ニ止マラズ其睡
 眠スルニ方テハ群中ニ必ず守衛ヲ爲スモノアリ又其遊翔
 スルトキニハ常ニ二列トナリテ宛モ羅馬字ノV形ヲ爲ス
 モノニシテ其先頭ニ立ツモノヲ首長トス往時徳川幕政ノ
 日ニハ此鳥ノ保護極メテ嚴ナリシヲ以テ本邦到處ニ棲息
 セシガ明治軍新後ハ殆ク之ヲ獵獲シ盡シテニ此ノ地方ヲ
 除ク外ハ其棲息スルモノヲ見ザルニ至レリ曩ニ此鳥ヲ捕
 獲ヲ禁止セラレシハ蓋シ是ガ爲メナシカ古來本邦ニ來
 遊シ又ハ蕃殖スル種類ハたんでう、しろづる、くろづる、なべ
 づる、まなづる、あねはづるノ六種ナレドモ其中ニ就テ左ノ
 三種ヲ示ス

白鶴圖

白鶴圖

第一圖 たんでう 十分二



水草ヲ食スルモノナリ然レドモ永ク一所ニ止マラス其睡
 眠スルニ方テハ群中ニ必ズ守衛ヲ爲スモノアリ又其遊翔
 スルニキニハ常ニ三列トナリテ宛モ羅馬字ノV形ヲ爲ス
 モノニシテ其先頭ニ立以テ首長トス往時徳川幕政
 日ニ此鳥ヲ保護極メテ嚴ナリシヲ以テ本邦到處ニ棲息
 セシガ明治維新後ハ殆ク之ヲ獵獲シ盡シテ茲ニ以テ地方ヲ
 除ク外ハ其棲息スル地ヲ見テ至ヒ此鳥ノ捕
 獲ヲ禁止セラレタリ蓋シ是ガ爲メカ古來本邦ニ來
 遊シ又ハ繁殖スル種類ハだんてう、しろづる、くろづる、なべ
 づる、まなづる、あねはづるノ六種ナレドモ其中ニ就テ左ノ
 三種ヲ示ス

水鳥類圖譜

鳥類圖譜

第壹圖 だんてう 十分二



第一 たんてう

No. 1 Tanchō.

學名
Grus Japonensis, Mull.

英名
Sarcered crane.

佛名
La grue du Japon.

此種ハ前額、眼先、頤、頰及ビ上喉ノ邊ヨリ後頸ノ後部ニ亘ル部分並ニ臂羽ハ共ニ眞黒ナレドモ其他ハ總テ純白ナリ人或ハ尾羽ヲ以テ黒色ナリト思惟スレドモ其黒色ナルハ即チ上ニ云フ臂羽ニシテ尾ハ全ク白色ナリ頭頂ニ丹キ毛ヲ生ズ是たんでう(丹頂)ノ名アル所以ナリ眼ノ周圍モ亦赤シ本邦、朝鮮、滿州及ビ西比利亞ハ此鳥ノ蕃殖地ニシテ本邦ニ古來各處ニ棲息セリ然ルニ近年濫ニ獵獲シタルガ爲メ今ハ全土中殆ド之ヲ見ザルニ至レリ元來陽鳥ニシテ昔ヨ

第二 まあづる

No. 2 Manazuru.

學名 Grus leucauchen, T.

英名 White-naped crane.

佛名 La grue à nuque blanche.

此種ハ殆ド全身蒼灰色ナレドモ頭上ヨリ後頸ニ亘リ背部ニ及ボシテ白色喉ハ其前部白色ニシテ其兩側ハ灰黑色眼ノ周圍ハ赤色ナリ雌雄甚シク體ノ大サヲ異ニス本邦ニハ往昔ヨリ最モ多ク棲息シテ頗ル美麗ナル種類ナレドモたんでうノ如クニ世人ハ之ヲ尊重セズまなづるモ近時獵獲者ノ多キガ爲メ漸ク其迹ヲ絶タントスルニ至レリ良ニ惜ムヘキコトニコソ凡ソ鶴類中ニテ其肉味ノ美ナルハ此鳥ニ若クモノナシ

第三 あべづる

No. 3 Nabetsuru.

學名
Grus monachus, T.

英名
White-headed crane.

佛名
La grue moine.

此種モ亦まなづるノ如ク其羽毛ハ灰黑色ニシテ頭ノ一部ト頸ノ殆ド全部ハ共ニ白色眼先前額及ヒ頭頂ハ孰レモ黑色ナリ又其體軀タル前種ニアリテハ雌雄ノ間ニ大小ノ差甚シケレドモ此種ニアリテハ其差少ナシ其主ナル蕃殖地ハ西比利亞ノ東部ナレドモ本邦ノ南部ニ於テモ亦同シク蕃殖スト云フサレバニヤ本土ニテハ從來其棲息スルモノアルヲ見レドモ北海道地方ニテハ絶エテ之ヲ目撃スルコトアジズ

燕

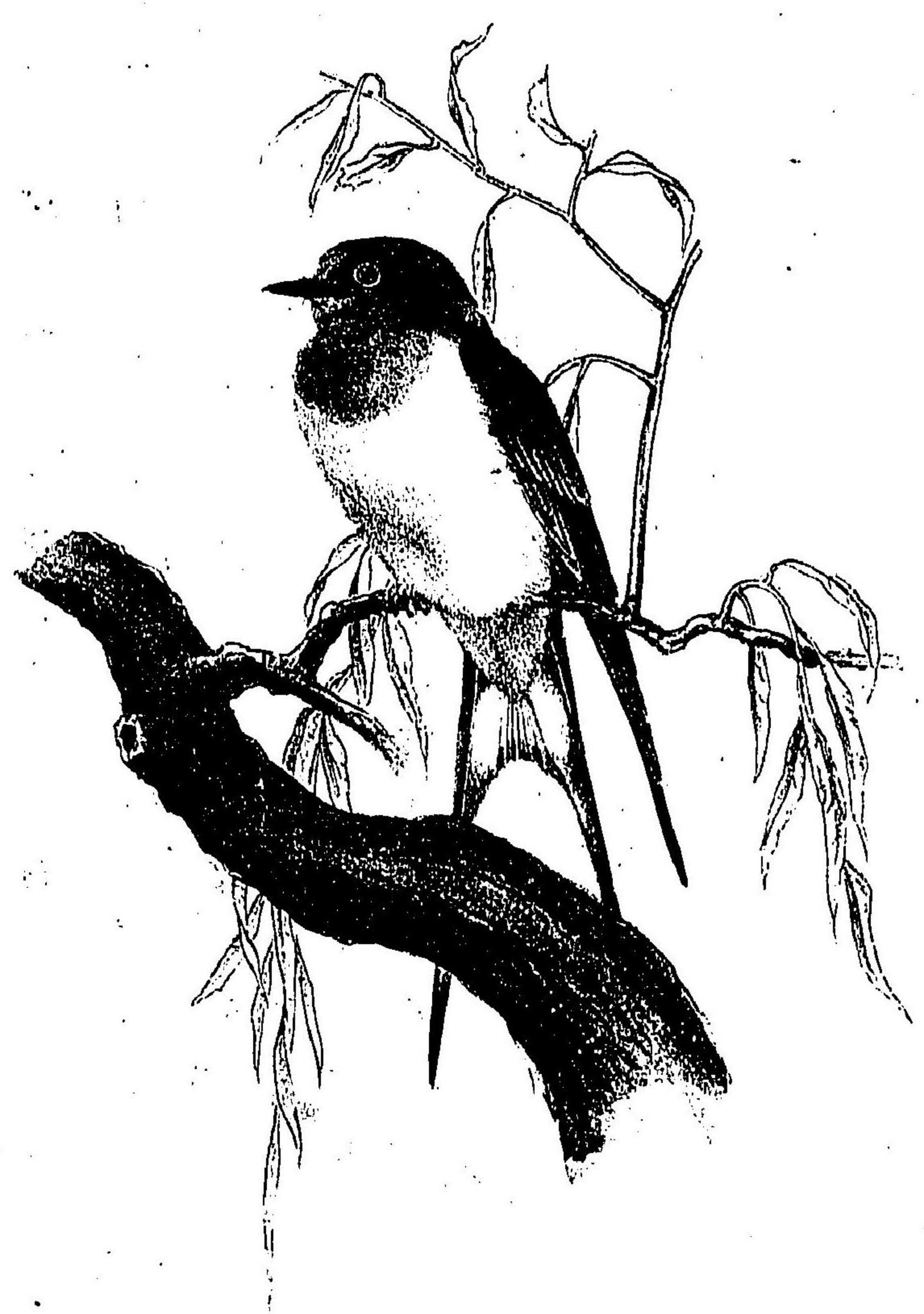
燕ハ燕雀族ノ候鳥ナリ其嘴ハ短濶圓平ニシテ殆ド三角形
ヲ爲シ體軀小形ナリ翼ハ伸長シ尾羽分歧シテ又狀ヲ爲ス
モノヲ通常トス脚ハ短少ナリ此鳥類ハ寒暑ノ平均ヲ保タ
ンガ爲メ時期ヲ定メテ去來スルモノニシテ其來ルヤ初春
ニ於テシ其去ルヤ晩夏若クハ初秋ニ於テス而シテ其本邦
ヲ去ルヤ遠ク南方ノ暖國ニ行クナリ飛翔最モ快捷ニシテ
常ニ昆蟲類ヲ啄食ス其雛ヲ哺養スルニモ亦此物ヲ以テス
故ニ田圃ノ農産物ニ取リテハ極メテ有益ナル禽鳥ナリト
ス特ニ農産物ニ對シテ然ルノミナラズ吾人ノ衛生上ニモ
亦裨益ヲ與フルコト尠少ナラズ蓋シ春季ヨリ夏季ノ間
於テ無數ノ諸小蟲類ヲ捕食シ以テ其害ヲ除クモノナレバ

燕

燕ハ燕雀族ノ候鳥ナリ其嘴ハ短濶圓平ニシテ殆ド三角形
ヲ爲シ體軀小形ナリ翼ハ伸長シ尾羽分歧シテ又狀ヲ爲ス
モノヲ通常トス脚ハ短少ナリ此鳥類ハ寒暑ノ平均ヲ保タ
ンガ爲メ時期ヲ定メテ去來スルモノニシテ其來ルヤ初春
ニ於テシ其去ルヤ晩夏若クハ初秋ニ於テス而シテ其本邦
ヲ去ルヤ遠ク南方ノ暖國ニ行クナリ飛翔最モ快捷ニシテ
常ニ昆蟲類ヲ啄食ス其雛ヲ哺養スルニモ亦此物ヲ以テス
故ニ田圃ノ農産物ニ取リテハ極メテ有益ナル禽鳥ナリト
ス特ニ農産物ニ對シテ然ルノミナラズ吾人ノ衛生上ニモ
亦裨益ヲ與フルコト尠少ナラズ蓋シ春季ヨリ夏季ノ間
於テ無數ノ諸小蟲類ヲ捕食シ以テ其害ヲ除クモノナレバ

ナリ若シ此鳥類微リセバ人生ノ健康ニ不測ノ害ヲ來スナ
 ラン是故ニ歐米諸國ニ於テモ亦此鳥類ノ爲メニ保護規則
 ナ設ケテ其捕獲ヲ禁止セザルハナシ燕ハ其種類頗ル多シ
 ト雖モ本邦ニ産スルモノハ下圖ニ示ス四種ノ外ニりうき
 う(琉球)つばめアルノミ
 因ニ曰クりうきうつばめトハ飯島博士カ命名サレシモ
 ノ、由ニテ其故ハ此燕ニ限リ本邦ニテハ沖繩島ノ外ニ
 棲息セザレバナリ

第四圖 つばめ 三六三



ナリ若シ此鳥類微リセハ人生以健康ニ不測ノ害ヲ來スナ
 ラシ是故ニ歐米諸國ニ於テモ亦此鳥類ノ爲メニ保護規則
 ナ設ケテ其捕獲ヲ禁止セザルハナシ燕ハ其種類頗ル多シ
 ト雖モ本邦ニ産スルモノハ下圖ニ示ス四種ノ外ニりうき
 (琉球)つばめアルノミ
 因ニ曰クりうきうつばめ下ハ飯島博士カ命名サレシモ
 一ノ、由ニテ其故ハ此燕ニ限リ本邦ニテハ沖繩島ノ外ニ
 棲息セザレバナリ

第四圖 つばめ 三分二



第四 つむめ

又つばくろ
つばくらめ

No. 4. Tsubame,
Tsubakuro, Tsubakurame.

學名
Hirundo rustica gutturalis,
Scop.

英名
Eastern-chimney-swallow.

佛名
L'hirondelle de cheminée.

此種ハ頂部、背部及ビ翼ハ共ニ黑色ニシテ青キ光澤ヲ有ス
故ニつばくろ(翼黒)ノ名アリ尾モ亦黑色ナレトモ白色ノ斑
點アリ胸部及ビ腹部ハ白色ニシテ額部ト喉部トハ栗色ナ
リ尾羽ハ深ク分岐ス其體ハ雀ニ比スレバ稍小ナリ性寒ヲ
畏ル、鳥ニシテ四月中本邦ニ來リ八月頃ニ至リテ南方ノ
暖國ニ去ル去來共ニ雁ト交代ヲ爲ス夏月泥ヲ含ンデ屋舍
ノ檐下ニ集テ結ブ其鳴聲喃々トシテ甚ダ愛スベシ本草ニ
謂ハユル(越燕)ト稱スルモノハ即チ此鳥ナリ此鳥ノ蕃殖區



第五圖 いはづばめ 三久二

漢名

燕

三久二

此鳥ハ亞細亞洲ニ在リテハ蒙古比馬拉耶ヨリ支那ヲ經テ本邦ニ達セリ西洋ニテハ烟筒中ニ巢ヲ營ムヲ以テ烟筒燕直譯ノ名稱アリ

城ハ亞細亞洲ニ在リテハ蒙古比馬拉耶ヨリ支那ヲ經テ本邦ニ達セリ西洋ニテハ烟筒中ニ巢ヲ營ムヲ以テ烟筒燕直譯ノ名稱アリ

第五 いんつばめ

又はまきつばめ
あなぐらつばめ

No. 5 Iwa-tsubame,
Iwamaki-tsubame,
Anagura-tsubame.

學名
Chelidon dasypus, Bp.

英名
Black-chinned martin.

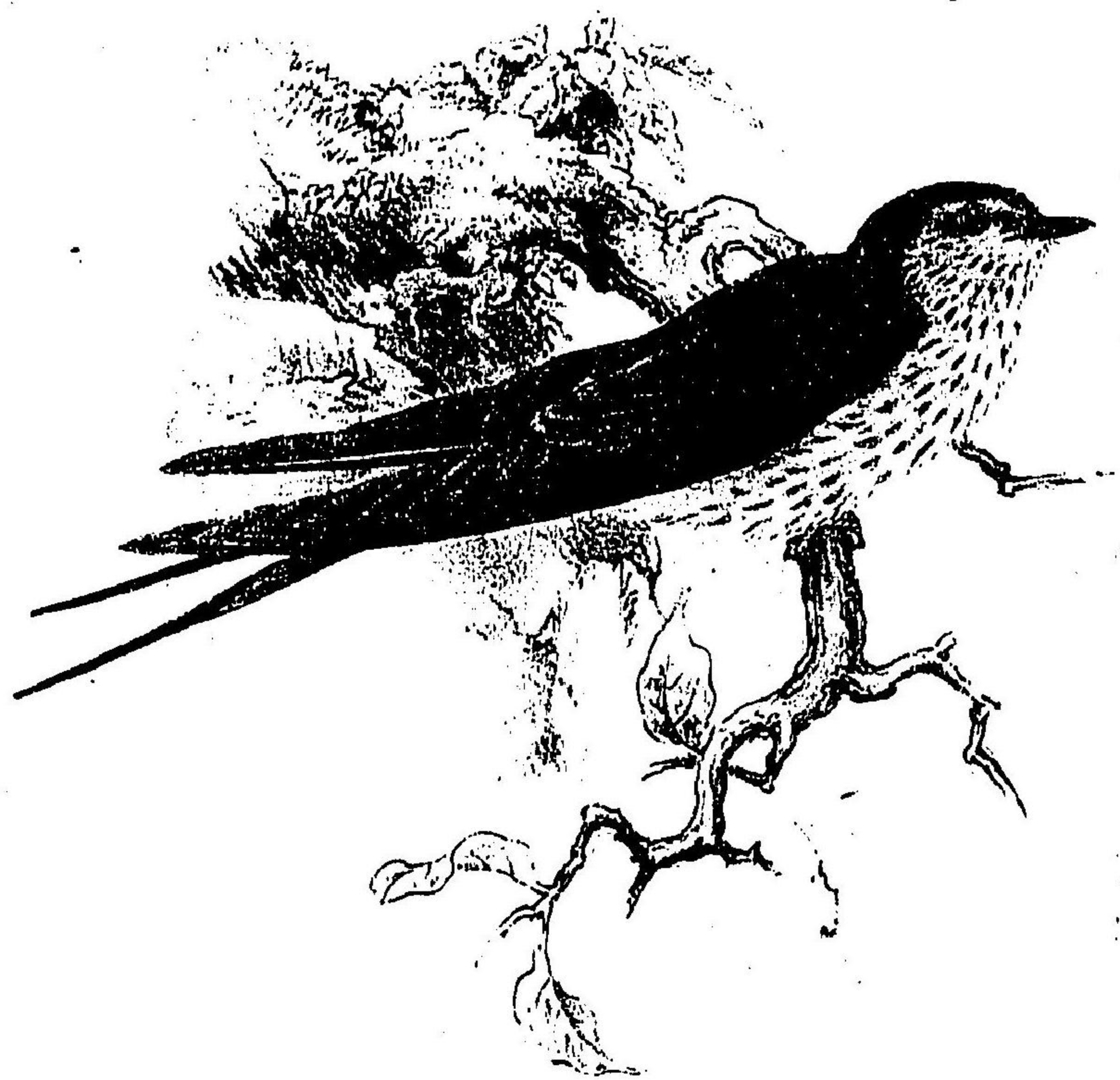
佛名
Le martinet.

此種ハ其體ノ大サ殆ト通常ノつばめノ如シ腰ノ白色ヲ除ク外體ノ上部ハ黑色ニシテ頭ヨリ背ニ及ボシ青キ光澤ヲ含メリ又其下部ハ概シテ白色ナレドモ胸ノ邊ハ灰褐色ナリ脚ニハ趾端ノ爪ノ根基ニ至ルマデ纖小ナル白色ノ羽毛ヲ生ズルハ此つばめノ特性トス尾ハ短クシテ岐裂極メテ少ナシ此鳥ハ夏季ニ於テ多ク見ル所ニシテ常ニ深山ニ棲息ス然レトモ樹木ニ止マテズシテ巖石ニ就テ息フいは(岩)つばめノ名稱アルハ蓋シ是ガ爲メナラシ又此鳥ハ群ヲ爲

シテ峨々タル絶壁ニ土窠ヲ架シテ雛ヲ育ス本邦ニテハ日
光ノ山中殊ニ華嚴瀑布ノ近邊ニ最も多ク棲息ス富士山其
他諸國ノ山中ニモ亦棲息ス

鳥類ノ習性ニ於テハ其ノ棲息ノ所ニ依リテ其ノ名ヲ付スル者多シ
然レドモ其ノ習性ニ依リテ其ノ名ヲ付スル者亦多シ
此ノ鳥ハ其ノ棲息ノ所ニ依リテ其ノ名ヲ付スル者多シ
然レドモ其ノ習性ニ依リテ其ノ名ヲ付スル者亦多シ
此ノ鳥ハ其ノ棲息ノ所ニ依リテ其ノ名ヲ付スル者多シ
然レドモ其ノ習性ニ依リテ其ノ名ヲ付スル者亦多シ

第六圖 とつりつめ 三々ニ



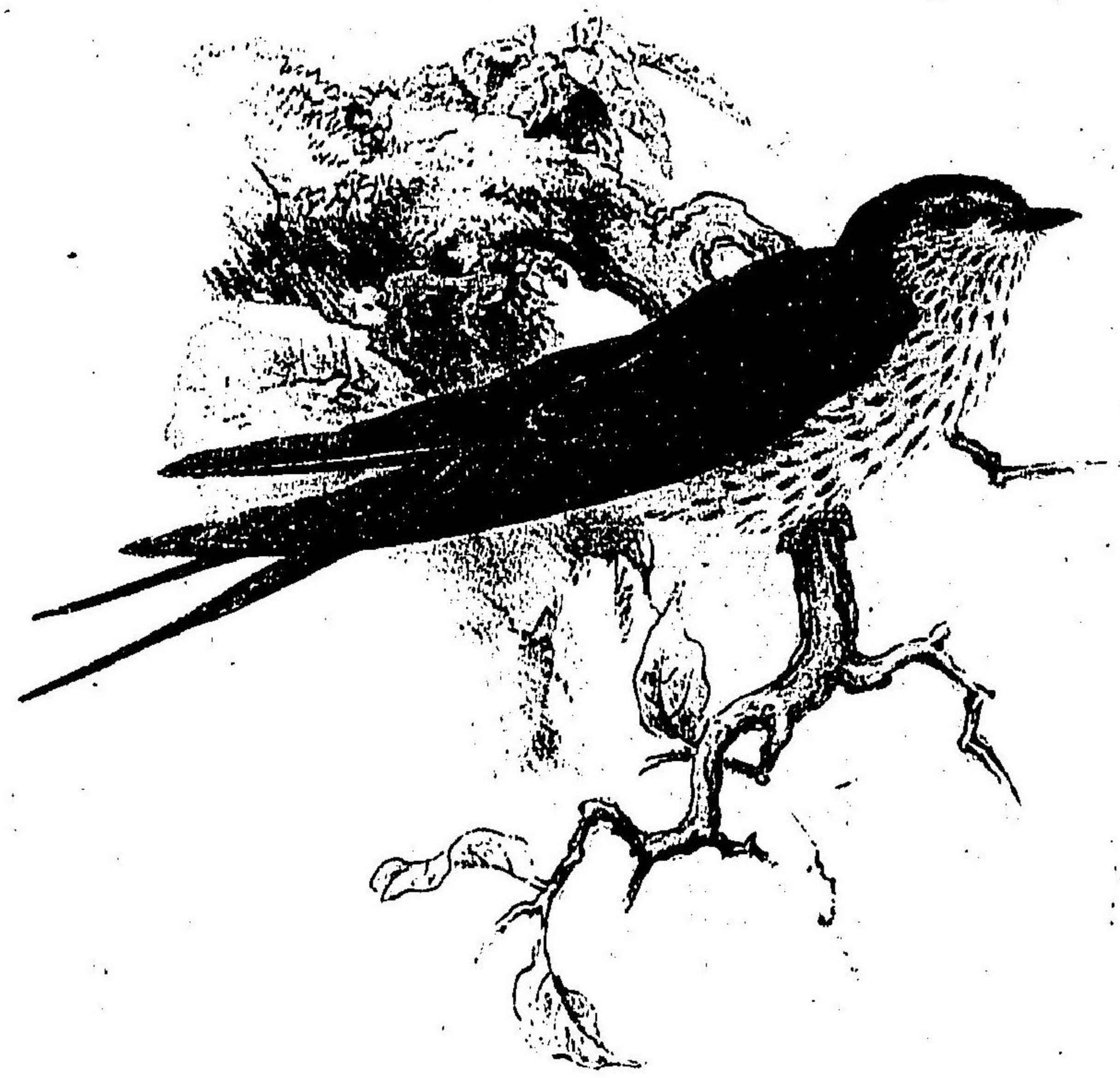
シテ峨々々々絶壁ニ土窠ヲ架シテ雛ヲ育ス本邦ニ希ク且
 光ノ山中殊ニ華嚴瀑布ノ近邊ニ最も多ク棲息ス富士山其
 他諸國ノ山中ニモ亦棲息ス

第五

ツバメ

ツバメ
 Hirundo
 日本
 中国
 朝鮮
 南洋

第六圖 とつりつめ 三分二



第六 とつくりつがめ

又こしあか

此種ハ其大サ及ビ體貌共ニ通常ノ燕ニ最モ髣髴シ尾モ深ク岐裂ス然レドモ其色様ハ異ナレリ即チ額ヨリ背ニ亘リテ黑色ニシテ青キ光澤ヲ帶ヒ頭側ト腰部トハ栗色ナリ又頤ヨリ腹ニ至ル部分ハ淡茶色ニシテ縦ニ數條ノ黑色斑アリ翼羽及ヒ尾羽ハ共ニ黑色ニシテ尾ニハ白色ノ斑點ヲ有セズ其嘴ハ黑色ヲ帶ビ短小ニシテ而モ匾平ナリ脚並ニ爪ハ薄キ褐色ヲ帶フとつくり(德利)つがめノ名ハ蓋シ其巢ノ形狀ニ取レルモノニシテ此鳥ハ泥土ヲ以テシテ人家ノ檐

No. 6 Tokkuri-tsubame.
Koshiaka.

學名
Hirundo alpestris nipalensis, Hodgs.

英名
Japanese mosque-swallow.

佛名
L'hirondelle alpestre du Japon.

下 烏宛モ德利様ノ巢ヲ營ムヲ以テナリ又其蕃殖地ハ比馬
拉耶ヨリ支那ノ北部及ビ本邦等ナリ但本邦ニテハ南部ノ
諸島ニ於テ多ク之ヲ見北海道ニテハ未曾テ之ヲ見シモノ
アラズト云フ
地ニテハ
其鳥ノ
其鳥ノ
其鳥ノ
其鳥ノ
其鳥ノ

第七圖 すまじりつぐめニホニ



亞細宛毛德利様ノ巢ヲ營ルヲ以テカヨリ又其蕃殖地ニ比馬
 拉耶ヲ西支那ノ北部及ヒ本邦等ナリ但本邦ニテハ南部ノ
 諸島ニ於テ多ク之ヲ見北海道ニテハ未曾テ之ヲ見然モ
 アモ不ハ云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云
 則トシテ西ノ半ノ諸島ニ於テハ亦見ルニ可キ然レモ其
 々里ニ於テハ亦見ルニ可キ然レモ其
 々里ニ於テハ亦見ルニ可キ然レモ其
 々里ニ於テハ亦見ルニ可キ然レモ其
 々里ニ於テハ亦見ルニ可キ然レモ其

第七圖

第六卷 鳥類
 第七圖
 第七圖
 第七圖

第七圖 すまじくつめニナリ



第七 せうとつばめ

又すなむぐりつばめ

No. 7 Shōdo-tsubame.
Sunamuguri-tsubame.

學名
Cotyle riparia, L.

英名
Sand martin.

佛名
L'hirondelle de rivage.

此種ハ夏季本邦ニ來ル候鳥ナレドモ多ク之ヲ見ルニハア
ラズ前ノ三種ニ比スレバ體貌最モ小ナリ又尾ノ岐裂ハ極
メテ僅少ナリ其羽色タル體ノ上部及ビ胸部ハ黒褐色ニシ
テ背部ノ羽ハ其縁邊ニ白樣色ヲ呈ハシ喉部及ビ腹部ハ共
ニ白色ナリ海邊又ハ河畔ノ砂中ニ横ニ穴ヲ穿テ巢ヲ營ム
ノ性ヲ具フ是蓋シすなむぐりつばめノ名稱由テ起レル所
ナリ其蕃殖區域ハ甚ダ廣大ニシテ歐羅巴洲ヨリ亞細亞洲
ニテハ西比利亞ノ南部及ヒ本邦ヲ經テ亞米利加洲ノ東部

第八 ひばり

No. 8 Hibari.

學名 Alauda arvensis Japonica

T. C.

英名 Small Japanese sky-lark.

佛名 L' alouette commun d
Japon.

ひばりハ燕雀族ニシテ歐羅巴洲亞細亞洲亞非利加洲共ニ
産ス嘴ハ圓錐形ヲ爲シ其質甚ダ堅硬ナリ後趾ノ爪ハ前趾
ノ爪ヨリ長クシテ微シク孤圓形ヲ爲セリ羽色ハうづらニ
似テ其體ハすゞめニ比スレバ稍大ナリ頭部背部及ビ胸部
ハ共ニ多少茶褐色ニシテ黒斑ヲ具ヘ腹部ハ白色ナリ鳴禽
ニシテ郊野ニ産シ樹木ニ上ルコトナクシテ巢ヲ地上ニ營
ミ五六月ノ頃雛ヲ育ス此鳥ハ専ラ農産ヲ害スル昆蟲ヲ求
メ食スレトモ春季ニハ嫩草又秋季ニハ穀實ヲ啄ム青春天

氣晴朗ノ日ニ逢ヘバ麥隴又ハ菜畦等ノ中ヨリ起テ噴々
 好音ヲ啼シツ、空中ニ飛揚ス故ニ支那人ハ之ニ告天子ノ
 名ヲ命ゼリ其上ルヤ緩徐ニシテ其下ルヤ迅速射ルガ如シ
 ひばりハ飼鳥ト爲シテ娛樂ニ供スルモノ多シ蓋シ其聲調
 ノ聞クヘク又其舞態ノ見ルベキヲ以テナリ之ヲ飼養スル
 ハ甚ダ容易ニシテ能ク馴ル、モノナレドモ飼養セシモノ
 ヲリシテ蕃殖セシムルコトハ至難ナリ故ニ飼鳥ト爲スニ
 ハ五六月ノ交巢中ニ就テ其雛ヲ捕フルヲ常トス本邦ニ棲
 息スルひばりハ本圖ニ示スモノ、外ニちしまひばり及ビ
 はまひばりノ二種アリ

鵲鴿

鵲鴿ハ燕雀族ノ候鳥ニシテ體貌細瘦嘴ハ細ク尖リテ宛モ
 錐ノ如ク尾ハ狹長ナリ脚亦細高ナリ元來一處不住ノ細禽
 ナレドモ多クハ水邊ニ棲息シテ常ニ昆蟲ヲ啄食ス其飛ブ
 ヤ必ズ鳴キ其行クヤ首尾ヲ搖シテ歩々相應ズルハ此鳥ノ
 特性ナリきせきれい、うすゞみせきれい、せぐろせきれい、ほ
 ゝじろせきれい等ハ孰レモ本邦ニテ見ル所ナリ今其中ノ
 二種ヲ示ス

一、鳥類は、動物界の最も多岐に富むる一門にして、その種類は、地球の各處に分布し、その生活の形態もまた、極めて多岐に富むるものである。

二、鳥類は、動物界の最も多岐に富むる一門にして、その種類は、地球の各處に分布し、その生活の形態もまた、極めて多岐に富むるものである。

三、鳥類は、動物界の最も多岐に富むる一門にして、その種類は、地球の各處に分布し、その生活の形態もまた、極めて多岐に富むるものである。

四、鳥類は、動物界の最も多岐に富むる一門にして、その種類は、地球の各處に分布し、その生活の形態もまた、極めて多岐に富むるものである。

五、鳥類は、動物界の最も多岐に富むる一門にして、その種類は、地球の各處に分布し、その生活の形態もまた、極めて多岐に富むるものである。

第九圖

第九圖 きせきりい 三分二



第九 きせきれい

又ませきれい

No. 9 Ki-sekirei,
Ma-sekirei.

學名
Motacilla boarula melano-
nops, Pall.

英名
Eastern grey-wagtail.

佛名
La bergeronnette boarule.

此種ハ其體貌最モ小ニシテ頭部及ビ背部ハ暗綠色ナレド
モ胸部及ビ腹部ハ鮮黃色ニシテ其下尾筒モ亦同色ナリ是
き(黃)せきれいの稱ヲ得タル所以ナリ但夏季ニアリテハ喉
部黒色ニ變テ眼上ニハ白斑アリテ宛モ眉ノ如ク嘴ハ黒色
ナリ雖モ捕テ飼養スルキハ能ク馴ルト雖モ若シニ
及ビ之ヲ放逸スルニ再テ捕養スルニ能ク馴ルモ其時
又此鳥ハ春季ヨリ秋季ヲテ飼養シ易シト雖モ夏季ニ
多ク斃死ス是其性タル炎暑ヲ忌ムガ故ナリきせきれい

肉ハ冬季ニ於テ其味頗ル美ナリ此鳥ハ九月ノ頃ヨリ各地
 又水邊ニ來リ棲息スレドモ翌年五月ノ頃ニ深山中之水邊
 ニ歸棲ス其蕃殖區域ハ貌列、賴島ヨリ歐羅巴洲及ヒ西北利
 亞地方ヲ經テ本邦ニ達セリ而シテ本邦ニテハ五月ノ頃ヲ
 以テ其蕃殖期トス

此鳥ハ其體色ハ夏ノ時ハ黒ク冬ノ時ハ白ク變ジ其體長ハ約
 十センチメートルニ達ス其翼長ハ約八センチメートルニ達ス
 其尾長ハ約六センチメートルニ達ス其嘴長ハ約二センチメートル
 ニ達ス其脚長ハ約一センチメートルニ達ス其卵長ハ約一センチ
 メートルニ達ス其卵重ハ約一グラムニ達ス

此鳥ハ其體色ハ夏ノ時ハ黒ク冬ノ時ハ白ク變ジ其體長ハ約
 十センチメートルニ達ス其翼長ハ約八センチメートルニ達ス
 其尾長ハ約六センチメートルニ達ス其嘴長ハ約二センチメートル
 ニ達ス其脚長ハ約一センチメートルニ達ス其卵長ハ約一センチ
 メートルニ達ス其卵重ハ約一グラムニ達ス

第十圖 うすみせきらい 三分二



因於冬季ニ於テ其味頗美ナリ此鳥於九月ノ頃ヨリ各地
 又水邊ニ來リ棲息スキトモ翌年五月ノ頃ニ深山中水邊
 ニ歸棲ス其蕃殖區域ハ貌列島ヨリ歐羅巴洲及至西北利
 亞地方ヲ經テ本邦ニ達セリ而シテ本邦ニ於テハ五月ノ頃ヲ
 以テ其蕃殖期トスルニ至リ白蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル
 鳥類ニ屬スルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬ス
 ルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬スルニ至リ
 其類ハ其類ニ屬スルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥
 類ニ屬スルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬ス
 ルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬スルニ至リ

鳥類ニ屬スルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬ス
 ルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬スルニ至リ
 其類ハ其類ニ屬スルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥
 類ニ屬スルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬ス
 ルニ至リハ蟻トシテハ蟻ノ類ニ屬スル鳥類ニ屬スルニ至リ

第十圖 三十二



第十

うきみせきれい

又はくせきれい

No. 10 Usuzumi-sekirei,
Huku-sekirei.

學名
Motacilla lugens, Kittle.

英名
Kamtschatkan wagtail.

佛名
La Bergeronnotte grise orientale.

此種ハ顔部白色ニシテ眼部ヲ通シ黒線アリ頬部ハ純黒ナルコト必ズ無シ(頬部ノ純黒ナルハせぐろせきれいト知ルベシ)而シテ軀幹ノ上部ハ灰黒色ニ富ミ又胸部及ビ腹部ハ純白色ナリト雖モ季節ノ異同年齒ノ少長等ニ由テ其羽色ヲ變シ又ハ之ヲ異ニスルモノナリ此鳥ハ主トシテ堪察加地方西比利亞及ビ我が千島等ニ蕃殖シ時トシテハ北海道ニモ亦之ヲ産シ秋季ニ至テ漸々南徙シ冬季ニハ本土四國及ビ九州ニ棲息ス

第十一 しぶふから

No. 11 Shijukara.

學名 Parus atriceps minor, T. S.

英名 Manchurian great-tit.

佛名 La mésange charbonnière
du Japon.

しぶふからハ燕雀族ノ小禽ニシテ羽色ハ頗ル美麗ナリ嘴ハ短直鋭尖ニシテ其質堅緻ナリ鼻孔ハ嘴基ニ在リテ前方ニ向テ生ゼル細羽ヲ以テ蔽ハル翼端ハ鈍角形ヲ爲シ頭部黑色ニシテ頰部ニ白キ圓文アリ喉部ヨリ腹部ヲ經テ尾根ニ達シ黒條アリ背部ハ綠色ニシテ翼ハ藍色ト黒色トヲ呈シ横ニ白帶アリ尾ハ外側白ク中央ハ黒クシテ藍色ヲ帶ブ四時ノ別ナク人家ノ庭際ニ來レドモ秋季ニハ尤モ多シ性人ヲ畏レズ故ニ之ヲ捕ヘテ馴ラシ養フコト甚ダ容易ナリ

本朝食鑑ニ云ク昔シ人アリ雀四十ヲ以テ此一鳥ニ代ハタ
 リ故ニ此鳥ヲ四十雀ト名ケタリ或ハ云フ其鳥多ク集ルヲ
 以テ名ケタリト孰レモ附會説ノ如クニ思ハルレドモ姑ク
 記シテ以テ他日ノ考據ニ供フシムカラハ多ク枯木ノ洞
 穴ニ巢ヲ營ム本邦支那蒙古滿州等ハ皆此鳥ノ蕃殖區域ニ
 シテ本邦ニ於テハ四五月ノ交ヲ以テ其蕃殖期トス凡ソ此
 類ノ鳥ハ孰レモ活潑急躁勤勉勇剛ノ諸性ヲ兼有シ常ニ昆
 蟲ヲ啄ミ又花蕾果實穀粒等ヲ食ス殊ニ蜜蜂ヲ嗜食スルモ
 ノナレバ宜シク之ヲ防グノ備ヲ爲スベキナリ

第十二圖 ひょうろ 四分三



本朝食鑑ニ云ク昔シ人アリ雀四十ヲ以テ此一鳥ニ代人タ
 リ故ニ此鳥ヲ四十雀ト名ケタリ或ハ云フ其鳥多ク集ルヲ
 以テ名ケタリト孰レモ附會説ノ如クニ思ハルレドモ姑ク
 記シテ以テ他日ノ考據ニ供フニシテ夫カラハ多ク枯木ノ洞
 穴ニ巢ヲ營ク本邦支那蒙古滿州等ハ皆此鳥ノ蕃殖區域ニ
 シテ本邦ニ於テハ四五月ノ交ヲ以テ其蕃殖期トス凡ソ此
 類ノ鳥ハ孰レモ活潑急躁勤勉勇剛ノ諸性ヲ兼有シ常ニ昆
 蟲ヲ啄ミ又花蕾果實穀粒等ヲ食ス殊ニ蜜蜂ヲ嗜食スルモ
 ノナレバ宜シク之ヲ防グノ備ヲ爲スベキナリ

第十三圖 ひょう 四八三



第十二 ひとがら

No. 12 Higara.

學名
Parus aster pekinensis,
Seeb.

英名
Eastern coal-tit.

佛名
La mésange cendrille
orientale.

ひとがらモ亦燕雀族ニシテ其體貌ハシシふからニ似テ稍小
ナリ頭部ハ黑色ニシテ頸部及ビ背部ニハ白色ノ斑紋アリ
咽喉部ニ於ケル黑色ハ胸部及ビ肩部ニ達シ腹部ハ白色ニ
シテ翼及ビ尾ハ共ニ黑色ナリ本邦ニ於テハ到處ニ棲息ス
而シテ秋季ヨリ冬季ニ涉リ果樹ニ族集シテ其幹枝ニ潜伏
スル昆蟲ヲ啄ム貌列顛島歐羅巴本洲西比利亞及ビ本邦ハ
皆此鳥ノ蕃殖區域ニシテ本邦ニ於ケル其蕃殖期ハ普通四
五月ノ候ナリひとがら及ビシふからハ其巢ヲ營シヤ樹穴



第十三圖 じぢぢのり 三分二

或ハ壁間或ハ岩孔等ニ於テシテ雌鳥ハ凡ソ二十顆以內ノ
卵ヲ産シ其雛ヲ保育スルニハ頗ル勇氣アリ

鳥ノ習性ニ於テハ其ノ巢ヲ築クニハ
或ハ壁間或ハ岩孔等ニ於テシテ
雌鳥ハ凡ソ二十顆以內ノ卵ヲ産シ
其雛ヲ保育スルニハ頗ル勇氣アリ
此ノ鳥ハ其ノ巢ヲ築クニハ
或ハ壁間或ハ岩孔等ニ於テシテ
雌鳥ハ凡ソ二十顆以內ノ卵ヲ産シ
其雛ヲ保育スルニハ頗ル勇氣アリ

第十三 ことぶから

又きまじり

No. 13 Gojūkara,
Kimawari

學名
Sitta cecilia amurensis,
S. W.

英名
Daurian nuthatch.

佛名
La sittele.

ことぶからモ亦燕雀族ノ候鳥ニシテ其形狀ハ略ボやまが
らニ類シテ體ノ大サハ凡ソ三寸許アリ嘴ハ端直ニシテ概
狀ヲ爲シ尾羽ハ短直ナリ後趾ニハ強大ナル爪ヲ具フ眼ヲ
通シテ黒線ヲ有シ喉部ハ白色ニシテ背部ト尾トハ青灰色
胸腹ノ二部ハ淡黄褐色脇及ビ下腹ハ共ニ鏽赤色ナリ性質
活潑ニシテ樹幹ニ攀緣シ極メテ巧ニ昆蟲ヲ啄ミ又穀實等
ヲ求メ食以テ其巢ヲ營ム老樹木ノ洞孔ニ於テシ泥土或以獸
糞ノ類ヲ以テ其孔口ヲ塞小ニスことぶからハ歐羅巴洲及

第十四 おほよしきり

又よしはらすゞめ
きよきよし

No 14 Ōyoshikiri,
Yoshiwarasuzume,
Giyō-giyoshi.

學名
Acrocephalus orientalis,
T. S.

英名
Chinese great-reed-warbler.

佛名
Le riverain oriental

おほよしきりハ燕雀族ニシテ其体ハもすヨリモ稍大ナリ
翼ハ短少尾モ亦長カラズ嘴ハ端直ニシテ稍強シ後趾ニハ
堅靱ナル爪ヲ具フ其羽色背部ハ一般ニ灰褐色ニシテ腹部
ハ白色ナリ蕃殖ノ爲メ夏季南方ノ國ヨリシテ本邦ニ來リ
沿池河泉田澤等ニ於ケル蘆葦ノ間ニ棲息シ葦蘆ヲ嗜食ス
是よしきり(葦割)ノ名稱ヲ得タル所以ナリ鳴聲甚ダ喧シク
其巢ヲ營ムヤ最モ巧ニシテ葦莖ヲ以テ支柱トナシ葦葉
ヲ以テ之ヲ網繕ス其蕃殖期ハ五六月ノ交ニシテ一巢ニ五

雛ヲ育スルヲ常トス其雛ヲ捕ヘテ飼鳥トナスヲ得ベシ歐
 羅巴全洲、裏海、近傍、亞刺比亞、亞非利加以北部及ヒ本邦等
 皆其蕃殖區域ナリ
 因ニ曰ク飼籠鳥目錄ヲ書クニハヒキリノ部ニ薩州ニ更
 ナリト又「扱薩州」ノ地ニ更ニなき故ニ江戸ヨリ兒飼ノ能
 力ヲ馴染タルヲ持來テ飼ふニ雖モ九月ノ頃ヨリ忽ニ倒テ
 死ス是ハ風土ノ志カラヒ故也トアリ果シテ實説ナル
 事ニヤ附記シテ以テ姑ク疑ヲ存スルハ可キトモハシクハ大ニ

飼籠鳥目錄
 雛ノ育スル
 常トス其雛
 ヲ捕ヘテ飼
 鳥トナスヲ
 得ベシ歐羅
 巴全洲、裏
 海、近傍、
 亞刺比亞、
 亞非利加以
 北部及ヒ本
 邦等皆其蕃
 殖區域ナリ

第十五圖 みそぎい 四分三



雛ヲ育スルヲ常トス其雛ヲ捕ヘテ飼鳥トナスヲ得ルシ歐
羅巴全洲裏海近傍亞刺比亞亞非利加以北部及日本邦等
皆其蕃殖區域出リテ飼鳥トシテ賣買スル者多シ
昔因三曰以飼籠鳥目錄ヲ致書ノ道トシテ部三薩州に更
ニ「此」又「拔薩州」の地に更ニなき故に江戸より兒飼の能
習馴染たるを持來に飼送雖も此月の頃より忽に倒て
死試是れ風土の志からむ故に「ト」果然テ實説ナル
ニテ附記セテ以テ姑ク疑ヲ存スルハ亦チ可トシテ備大ニ

第十四圖 飼籠鳥

飼籠鳥
飼籠鳥
飼籠鳥
飼籠鳥
飼籠鳥

第十五圖 みぎきい 四ノ三



第十五

みそさざい

No. 15 Misosazai.

學名 Troglodytes fumigatus, T.

英名 Japanese wren.

佛名 Le troglodyte ordinaire.

みそさざいハ燕雀族ノ候鳥ニシテ其體形ハうぐひすニ似テ頗ル矮小嘴ハ短直ニシテ尖リ全身赭褐色ヲ呈シ黑色ノ斑文アリ翼及ヒ尾ハ短クシテ共ニ黑色ノ線條ヲ存シ又黑色下赭褐色トノ斑點アルヲ見ル脚ハ黑色ニシテ細長ナリ其態度活潑ニシテ其鳴聲亦愛スヘシ甚シク人ヲ怖レス飼鳥トナシテ頗ル價値有ス此鳥ハ十一月ノ頃來リ山野共ニ棲息シ三四月ノ交厠陰或ハ溝側等ニ穴ヲ穿テテ巢ヲ營ニ雖テ育ス其蕃殖區域ハ歐羅巴洲ヨリ亞細亞洲ニ亘ル其

巢ヲ營造スル頗ル精巧ニシテ雌雄三週間ヲ費シテ竣成ス
其體三比スレテ巢穴非常ニ大テ即チ高サ四寸許横三寸
許ニシテ出入口ヲ上部ノ一側ニ穿テ雌ハ六乃至八卵ヲ産
シ抱卵スルコト一回ニミナリ此鳥ハ好シテ昆蟲及ヒ蠕蟲
ヲ類テ食ス

幾十正

鳥類ノ中ニハ此鳥ノ如クハ其巢ノ精巧ニテハ他ノ鳥ニテハ見ラレズ
且チ其巢ノ大ニテハ他ノ鳥ノ巢ニテハ見ラレズ
其巢ノ形ハ筒ノ如クニテ上部ノ一側ニ出入口ヲ穿テ
雌鳥ハ六乃至八卵ヲ産シ抱卵スルコト一回ニミナリ
此鳥ハ好シテ昆蟲及ヒ蠕蟲ヲ類テ食ス



幾十正圖

不之其子。二分一

巢ヲ營造ス成頗ル精巧ニ以テ雌雄三週間ヲ費シテ竣成ス
 其體ニ比スルニ巢大非常ニ大ニ即チ高サ四寸許横三寸
 許ニシテ出入口正部ノニ側ニ穿ツ雌ハ六乃至八卵ヲ産
 シ絶解ス死コトニ回リテ此鳥ハ好シテ昆蟲及ヒ蠕蟲
 送類ヲ食ス
 其體ニ比スルニ巢大非常ニ大ニ即チ高サ四寸許横三寸
 許ニシテ出入口正部ノニ側ニ穿ツ雌ハ六乃至八卵ヲ産
 シ絶解ス死コトニ回リテ此鳥ハ好シテ昆蟲及ヒ蠕蟲
 送類ヲ食ス

樂下正

鳥類
 鳥類
 鳥類
 鳥類



鳥類 三十六圖

第十六 ほととぎす

ほととぎすハ杜鵑族ニシテ二趾ハ前向シ他ノ二趾ハ後向
シ其狀きつゝきニ似タレトモ樹ヲ攀縁スルモノニハ非ス
嘴ハ稍弧圓狀ヲナシ口ハ大ニ裂ケテ尾ハ尋常ナリ其羽色
躰ノ上部ハ蒼灰色ナレトモ其下部ハ白色ニシテ黒斑ヲ具
フ脚ハ黄色ナリ候鳥ニシテ晩春始メテ聲ヲ放テ仲夏ニ至
リテ止ム好テ毛蟲ノ類ヲ食フカ故ニ田圃山林ニ益スルコ
ト甚ダ大ナリほととぎすハ自ラ巢ヲ營ムコト能ハス他鳥
ノ巢ヲ求メテ其中ニ二顆ノ卵ヲ産ス其孵化期ハ凡ソ五月

No. 16 Hototogisu.

學名 Cuculus poliocephalus,
Lath.

英名 Little cuckoo.

佛名 Le petit coucou.

ナリ此鳥ノ蕃殖區域ハ本邦ヲ始メ亞細亞大陸ノ一部ヲ以
 因ニ曰ク杜鵑族ハ數種アリト雖モ其中ニ就テ普通多キ
 モノハくわくこうどり及ヒつゝどりノ二種ニ過キザル
 ガ如シカレバ右二鳥ノ事ヲ附記セシニくわくこうどり
 ハ其形狀ほどきすニ似テ稍大ナリ羽色ハ背部灰色ニ
 シテ腹部ニハ類白色ヲ呈シ黑色ノ横條ヲ存ス其鳴クヤ
 自名ヲ呼フガ如シ此鳥モ亦自ラ巢ヲ營ル能ハズシテ他
 鳥ノ巢中ニ卵ヲ産ス又つゝどりモほどきすニ類シテ
 幾分カ大ナリ其鳴聲宛モ竹筒ヲ撃ツガ如シ是其名ヲ得
 タル所以ナリつゝどりニハ一ニ丸ねまきどりノ稱アリ
 蓋シ農家ハ此鳥ノ鳴聲ヲ聞キ始メテ穀種ヲ藝ウレバナ
 リつゝどりハほどきすくわくこうどり等ノ如ク他鳥
 ノ巢ニ卵ヲ産スルニアラスシテ自ラ樹幹ノ洞穴中ニ巢

ヲ營ミ五六月ノ交ニ卵ヲ産ス

第十七 あらげら

No. 17 Akagera.

學名

Picus major japonicus,
Seeb.

英名

Japanese great-spotted
wood-pecker.

佛名

Le grand pic du Japon.

此種ハ其體ノ大サ凡ソ七寸強ニシテやきげらニ比スレバ
稍小ナリ前頭部及ビ背部ハ共ニ黒色翼及ビ尾モ亦黒色ナ
レドモ白斑ヲ存セリ又頸部ニハ黒斑ヲ有シ腹部ニハ紅色
ヲ帶ベリ而シテ後頭部ニ赤色ヲ呈スルモノハ雄トス此鳥
ハ本邦ニ産ス其蕃殖期ハ大凡五月ノ頃ナリ又一種モほあ
かげらアリ其大サ凡ソ九寸強ニシテ體貌羽色等ハ略ボ相
同シ



第十八圖 こけりう 四ノ三

鳥類の多くは其の巣を木の空の間に築き居るが
 此の鳥は木の皮を啄んでその中の虫を食ふ習性
 がある。其の巣は木の皮の隙間に作り出し、
 木の皮を剥いてその中の虫を食ふ。其の巣は
 木の皮の隙間に作り出し、木の皮を剥いてその
 中の虫を食ふ。其の巣は木の皮の隙間に作り
 出し、木の皮を剥いてその中の虫を食ふ。其の
 巣は木の皮の隙間に作り出し、木の皮を剥いて
 その中の虫を食ふ。其の巣は木の皮の隙間に
 作り出し、木の皮を剥いてその中の虫を食ふ。

第十八 こげら

No. 18 Kogera.

學名
Jyngipicus kizuki see-
bolmi, Harg.

英名
Hargitt's pygmy wood-
pecker.

佛名
Le pie kisuki.

此種ハ前種ニ比スレバ遙ニ矮小ニシテ雀ヨリハ幾分カ大
ナリ全身殆ト黒褐色ニシテ白斑ヲ雜フ脚ハ眞黒色ナリ後
頭部ノ兩側ニ紅毛ヲ生ズルモノハ雄ニシテ之ヲ生セザル
モノハ雌ナリ本邦ニテハ大凡五月ノ頃ニ於テ蕃殖ス就中
九州ニ多シ瓜哇島ニモ亦之ニ相似タルモノアリト云フ
因ニ曰ク啄木鳥ノ類ニハ前ニ示ス所ノ外ニ尙ホくまげ
ら、やまげら、あをげら等ノ諸種類アリト雖モ要スルニ大
同小異ニ過キザレハ省キテ之ヲ載セス

鳥類志 卷之六 鶉科 鶉

鶉ハ燕雀族ノ候鳥ニシテ皆小禽ナリ嘴ハ匾平ニシテ短ク其根基ニ數鬚ヲ生ズ常ニ林藪中ニ棲息シテ蟲類ヲ啄食ス性活潑ニシテ群集スルコトヲ好ム其鳴聲細調ナレトモ頗ル聞クニ堪ヘタリ又其巢ヲ營ムコト尤モ巧緻ナリ鶉ヲヒタキト訓スルコトニ就テ飼籠鳥目錄テフ書ニ其尾ヲ振リツ、カチ、ト聲ヲ出シテ止ル故ニ火焚ノ名アリト見エタリヒタキニハ數種類アレトモ左ニヒようびタキ、るりびタキノ二種ヲ示シテ其他ハ之ヲ畧セリ

鶉

鶉ハ燕雀族ノ候鳥ニシテ皆小禽ナリ嘴ハ匾平ニシテ短ク其根基ニ數鬚ヲ生ズ常ニ林藪中ニ棲息シテ蟲類ヲ啄食ス性活潑ニシテ群集スルコトヲ好ム其鳴聲細調ナレトモ頗ル聞クニ堪ヘタリ又其巢ヲ營ムコト尤モ巧緻ナリ鶉ヲヒタキト訓スルコトニ就テ飼籠鳥目錄テフ書ニ其尾ヲ振リツ、カチ、ト聲ヲ出シテ止ル故ニ火焚ノ名アリト見エタリヒタキニハ數種類アレトモ左ニヒようびタキ、るりびタキノ二種ヲ示シテ其他ハ之ヲ畧セリ

第十九 じょうびたき

No. 19 Jō-bitaki.

學名 Raticilla aurea, Gm.

英名 Daurian reistart.

佛名 L'humicole anrore.

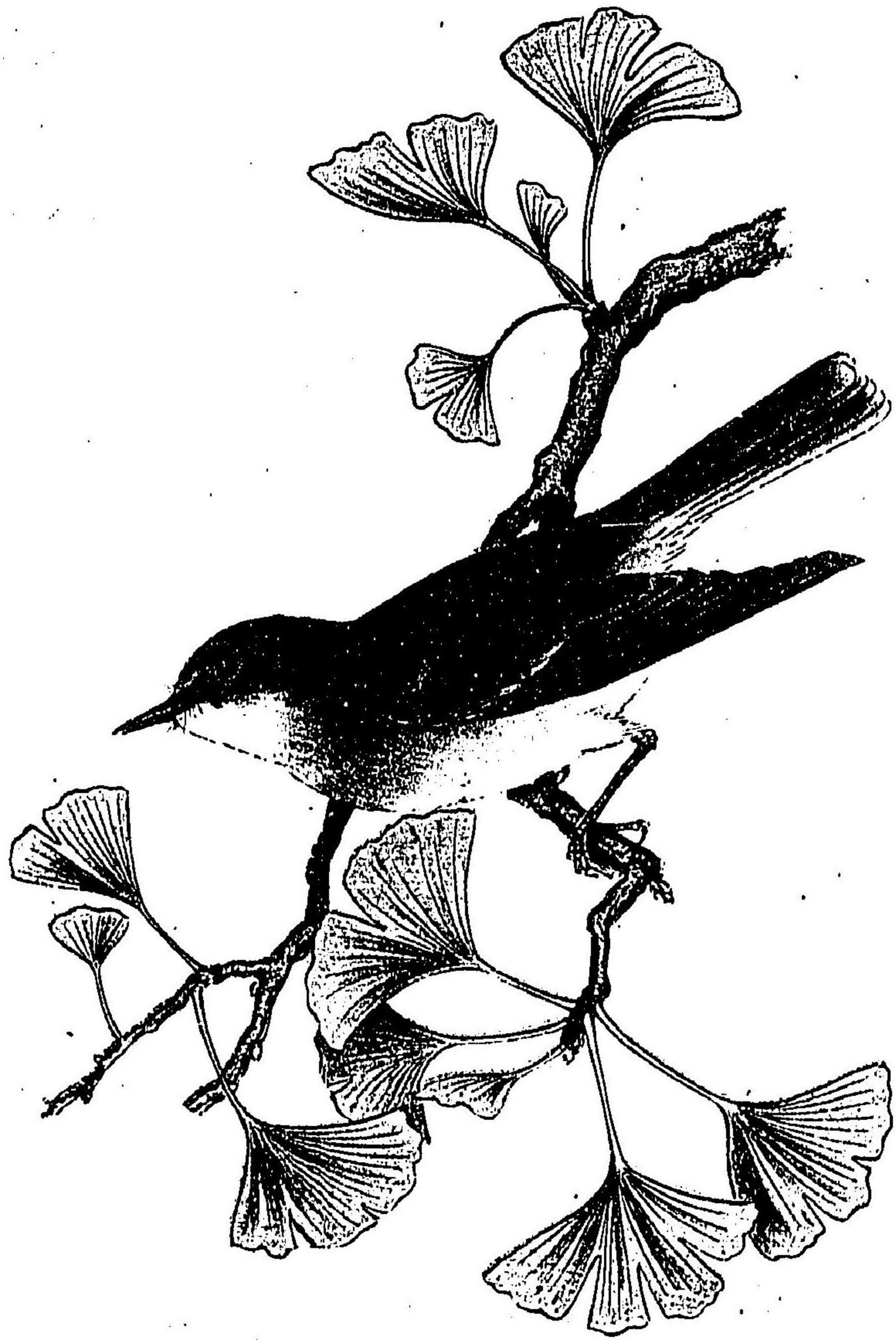
此種ハ其大サほゝしろノ如クニシテ頭部及ビ後頸部ハ灰
白色背部ハ淡黒色頰部咽喉部ハ共ニ深黒色肩部ニハ白毛
アリ翼ニハ白斑ヲ有シ胸部腹部腰部及ヒ尾ハ孰レモ黄赤
色ナリ本邦各處ニ棲息シテ秋晩ヨリ春初マデハ平原ニ於
テ之ヲ見レドモ夏季ニハ山中ニ去ル其巢ヲ營ムヤ多クハ
樹幹ノ洞穴中ニ於テシ四月ノ候ヨリ六月ノ頃マデ蕃殖ス
此鳥ノ蕃殖區域ハ西比利亞ノ東南部滿州ノ東部北支那及
日本邦等ニシテ南支那海南時トシテハ亞桑馬來半島瓜哇

及七池間邊ニマア宅至遊園如クモテハ無縁無縁半湖風如

其風ハ蘇前湖如ハ其湖風ハ東南諸藩候ハ東藩武文派系
諸藩ハ湖水中ニ知テハ國民ハ湖中ニ遊ビテ大風ハ湖マテ藩候ハ
て六モ其ハナクハ實事ハ湖中ニ止テ其風ハ湖マテ遊ビテハ
遊ビテ奉養各藩ハ其風ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖マテ遊ビテハ
其風ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖マテ遊ビテハ
白鷺管轄ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖マテ遊ビテハ
其風ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖中ニ遊ビテハ其風ハ湖マテ遊ビテハ

第二十圖 ありびたき

第二十圖 ありびたき 三合ノ二



第二十 りりびたき

又ゆきびたき

No. 20 Ruri-bitaki,
Yuki-bitaki.

學名
Tarsiger cynura, Pall.

英名
Siberian blue-tail.

佛名
L' humicole blue.

此種モ亦其大サルソほ、じろノ如クニシテ咽喉部ヨリ尾筒ニ至ルマデ體ノ下部ハ都テ白色脇腹部ハ黃褐色頭部ニハ鼻孔ヨリ眼下ニ至ルマデ白線ヲ劃スト雖モ其他ノ羽色ハ概シテ瑠璃色ヨリ成レリ是即チるりびたきノ名稱ヲ得タル所以ナリ又雌ニアリテハ瑠璃色ハ尾羽ニアラズンハ之ヲ見ルコトナク頭部ハ白色線ハ顯然タラズ體ノ上部ハ羽ハ青色ニシテ臀上ニ少シク藍色ヲ存シ喉部及ビ頸部ハ少シク鼠様褐色ヲ帶ビ脇腹部ハ黃褐色ハ稍鮮明タラズ此

鳥ハ本邦ニ四時棲息スト雖モ北海道ニテハ夏季之ヲ見ル
ノミ夏月山中ニ巢ヲ營ミテ雛ヲ育シ冬月平原ニ出ヅ沖繩
地方ニモ亦棲メリ蕃殖區域ハ西比利亞烏拉兒山ヨリ堪察
加ニ至ル間ニシテ冬季ニハ支那臺灣等ニ徙ル

鳥ハ本邦ニ四時棲息スト雖モ北海道ニテハ夏季之ヲ見ル
ノミ夏月山中ニ巢ヲ營ミテ雛ヲ育シ冬月平原ニ出ヅ沖繩
地方ニモ亦棲メリ蕃殖區域ハ西比利亞烏拉兒山ヨリ堪察
加ニ至ル間ニシテ冬季ニハ支那臺灣等ニ徙ル

第二十圖 むぐどり 三分二



鳥ハ本邦三時棲息ス雖ニ北海道ニテハ夏季之ヲ見ル
 以テ夏月山中ニ集テ營ミテ雖ニ育シ冬月平原ニ出テ沖繩
 地方ニモ亦棲テ蕃殖區域ハ西比利亞烏拉兒山ヨリ堪察
 加ニ至ル間ニシテ冬季ニハ支那臺灣等ニ徙ル

第二十一 むくどり

鳥類学

第二十一圖 むくどり 三ノ二



第二十一 むくどり

No. 21 Mukudori.
學名 Sturnus cineraceus, L.
英名 Grey starling.
佛名 L' étourneaux cendrillard.

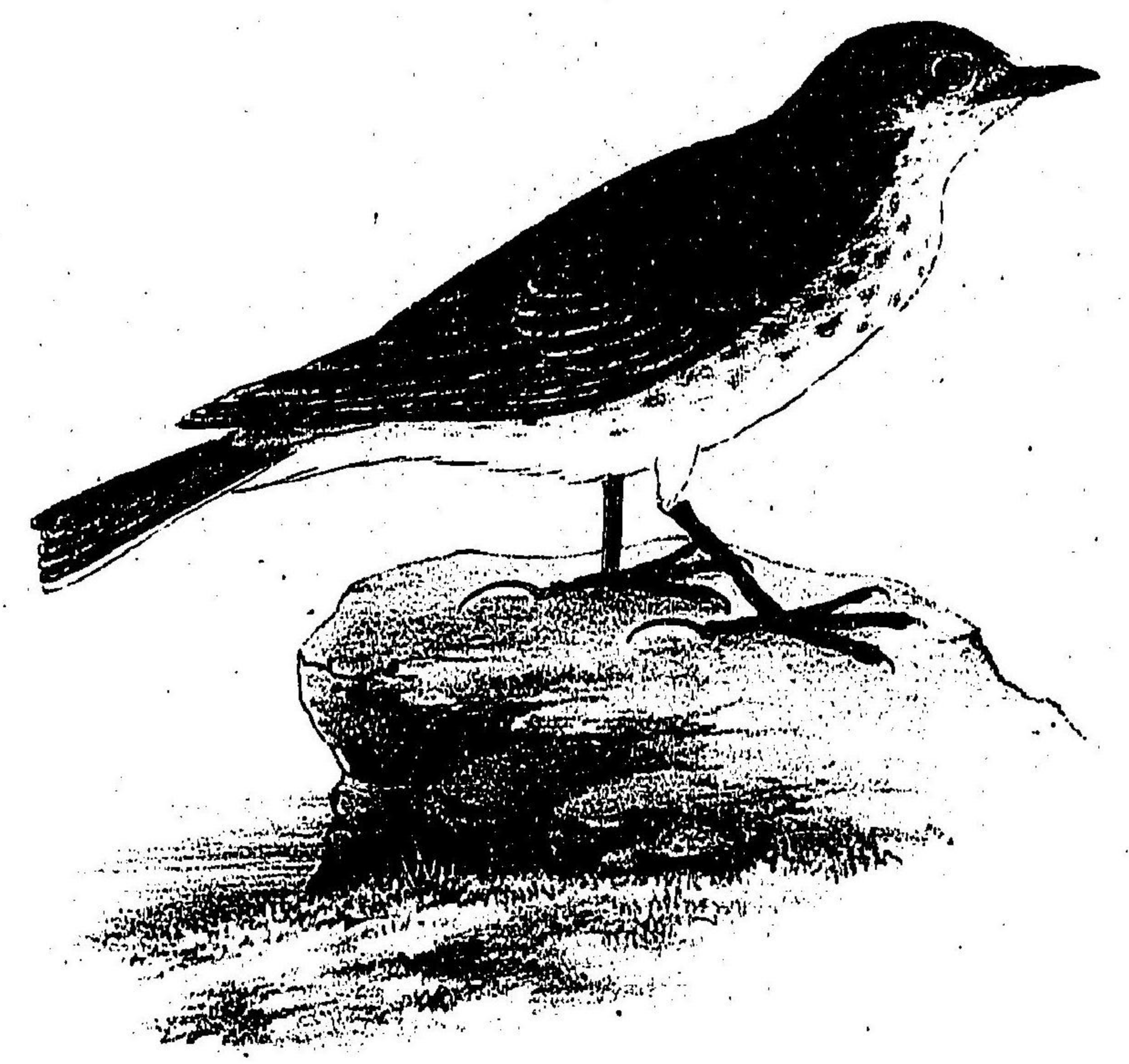
むくどりハ燕雀族ノ留鳥ニシテ其体ハ鳩ヨリモ小ナリ嘴ハ端直ニシテ尖リ全身灰黑色ニシテ眼ノ周圍ニ白色ノ毛アリ好ンデ椋樹ニ止マリ其實ヲ食フガ故ニむくどりノ名ヲ得タルナリ又棟ノ子實ヲモ嗜食シ或ハ軟体動物(蝸牛ノ類昆虫蠕蟲等)ヲ啄ム其肉味ハ美ナラズ冬季ニハ群ヲ爲セドモ夏季ニハ分離シテ樹杪或ハ家屋等ノ高處ニ巢ヲ營ミ雌ハ四乃至七卵ヲ産シ其孵化期ハ春末ヨリ夏初ノ間ニアリ此鳥ノ蕃殖區域ハ本邦ヲ始メ亞細亞洲ノ一部分ナリ

鳥類ノ新種別類ハ本邦ニ幾ク種雖亞種ノ一類衣々
 類ハ同以テ是モ種々其ノ其細分眼ハ容未ヨリ夏降ノ間ニ
 其ノ其本ニハ食糧ニテ歸然ハ寒氣入ノ高寒ニ莫々營
 謀且蟲類鳥類ヲ知ル其肉初ハ美シク又ハ多クニハ獲テ
 食スルモ又ハ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其
 肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉
 ハ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ
 其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ其ノ其肉ヲ食フモ

第二十一 たいどり

たいどり
 たいどり
 たいどり
 たいどり

第二十三圖 たいどり 四分三



第二十二 たひばり

No. 22 Tahibari.

學名

Anthus spinoletta japonicus, T. S.

英名

Japanese alpine pipit.

佛名

Le pipit falouse du Japon.

たひばりハ燕雀族ノ候鳥ニシテ最モせきれいニ近シト雖
モ其容貌ハ極メテひばりに似テ稍短小ナリ又其鳴聲及ビ
飛舞モ彷彿スレドモ共ニ劣レリ嘴ハ端直ニシテ錐ノ如ク
其尖端少シク曲リ又其縁邊ニハ截痕ヲ有ス尾ハ長ク後爪
ハ長大ナリ頭部背部翼羽嘴等孰レモ類灰色ニシテ黒斑アリ
此鳥ハ秋分ノ頃ヨリ來リ冬月ハ水田又ハ河畔其他陰濕
ノ地ニ棲息シテ昆蟲ヲ啄食ス若シ人ヲ見レバ飛翔スルコ
トせきれいニ同シ飼鳥トナシテ其養法亦異ナラズ夏時又

候數回其卵ヲ孵化ス其蕃殖區域ハ本邦ヲ始メ歐羅巴埃及

小亞細亞西比利亞以温帶部分ナリ人々其ノ肉ヲ食ス其ノ卵ヲ食ス
其ノ肉ハ味ニ似テハ鴨ノ肉ニ似テハ鴨ノ肉ニ似テハ鴨ノ肉ニ似テハ鴨ノ肉
其ノ卵ハ味ニ似テハ鴨ノ卵ニ似テハ鴨ノ卵ニ似テハ鴨ノ卵ニ似テハ鴨ノ卵
其ノ肉ハ味ニ似テハ鴨ノ肉ニ似テハ鴨ノ肉ニ似テハ鴨ノ肉ニ似テハ鴨ノ肉
其ノ卵ハ味ニ似テハ鴨ノ卵ニ似テハ鴨ノ卵ニ似テハ鴨ノ卵ニ似テハ鴨ノ卵

第二十三圖

第二十三圖 五十一



第二十三 き じ

No. 23 Kiji.

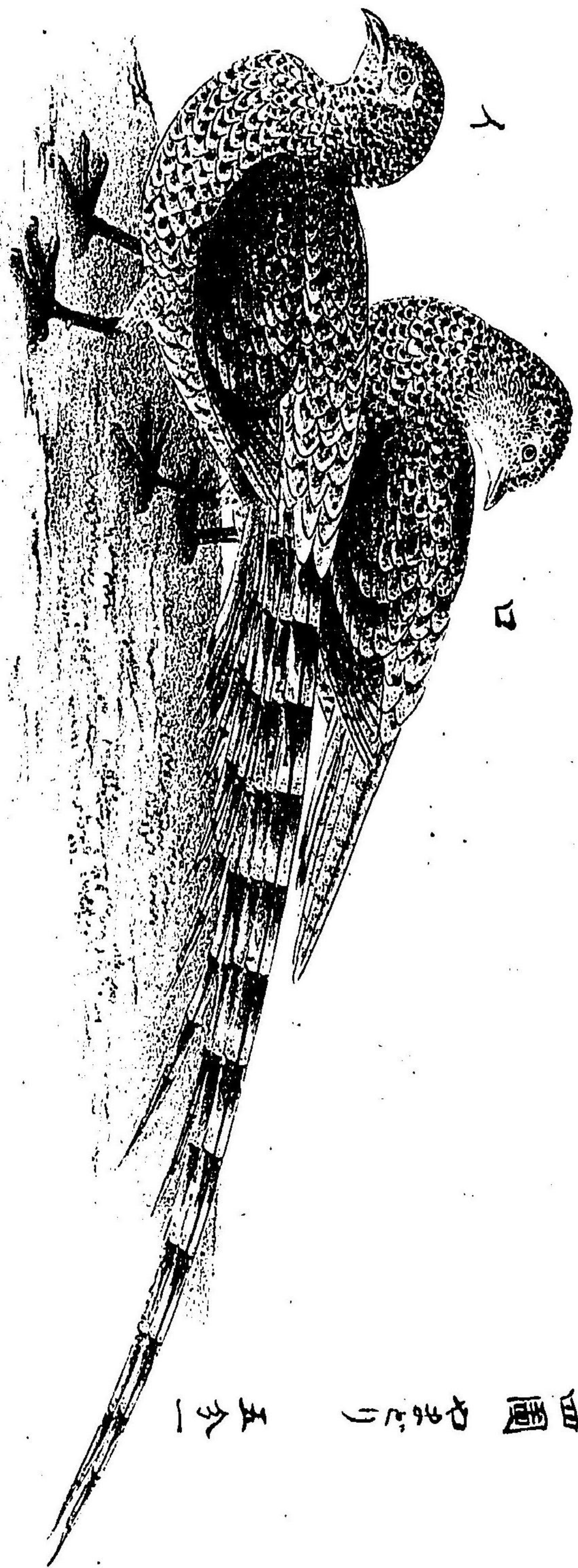
學名 Phasianus versicolor, Vie-
ill.

英名 Japanese green pheasant.

佛名 Le faisan versicolore.

きじハ鶉雞族ニシテ其体ノ大サ畧ボ凡はどりノ如シ嘴ハ短次上嘴ハ下方ニ彎曲シテ其縁端ハ下嘴ヲ包容ス頰部ハ裸出シテ赤色眼ハ黄色ナリ頂上ニハ羽冠ヲ戴キ尾羽ハ十八枚ヨリ成リテ頗ル長シ翼ハ其体軀ニ比シ甚ダ短小ナルヲ以テ飛力強カラズト雖モ脚ハ疾走ニ適ス後趾ハ短小トシテ稍前趾ノ上ニ位ス雄ハ脚ノ後部ニ距ヲ有ス其羽毛雄ニ在リテハ各種ノ色彩ヲ存シ頭部胸部腹部ハ共ニ綠色ノ光澤アリ又雌ニ在リテハ茶褐色ニシテ艶麗ナラズ且其体

小ニシテ尾モ亦短シ常ニ地上ニ棲息シテ穀類昆蟲等ヲ食
 ス蕃殖期ハ大凡五六月ノ頃ニシテ雌ノミ^カ抱卵^カス其雛ハ穀
 ナ脱出スルヤ忽チ歩走シテ自ラ食ヲ求ムキヒテ飼鳥トナ
 スニハ其卵ヲ母雛ニ伏サシムレバ孵化シテ雛ヲ出ス又山
 野ヨリ雛ヲ捕ヘ來ルモ宜シ然レドモ容易ニ馴ルコトナ
 シ此鳥ハ産卵多顆ニシテ肉味甚ダ美ナリ
 因ニ曰ク白雉ハ全ク普通雉ノ變生ナリトゾ



第五十四圖 野山どり 五分一

第二十四 やまどり

No. 24 Yamadori.

學名 Phasianus scintillans, G.L.

英名 Hondo copper pheasant.

佛名 Le faisan cuivré.

やまどりモ亦鶉雞族ニシテ其形貌殆トきじニ同ジト雖モ
幾分カ大ナリ而シテ雄ハ全身赤黄色ニシテ少シク赤黒色
ノ斑紋ヲ有シ金色ノ光澤アリ尾ハ甚ダ長クシテ頂上ニハ
羽冠ヲ戴キ脚ニハ距ヲ存ス雌ハ其羽色暗色ニシテ尾ハ短
シ此鳥ハ山林ニ棲息シテ穀物及ビ蟲類等ヲ食ス其蕃殖期
ハ五六月ノ頃ニシテ雌ノミ獨リ抱卵シ雛ノ孵化スルヤ直
ニ歩走シテ食ヲ求ムル等ハきじニ同ジク其肉味ノ美ナル
コトハ之ニ勝レリ



第二十五圖 うづら 三分二

第二十四 びきり

びきり鳥は、春の初めに、
 田舎の山や野原に、
 成り立ち、
 羽を伸ばし、
 鳴き出す。

其の鳴き声は、
 清く、
 遠くまで響く。

此の鳥は、
 田舎の鳥で、
 人々に好まれる。

其の姿は、
 可愛く、
 羽の色は、
 美しい。

此の鳥は、
 春の鳥で、
 人々に愛される。

第二十五 うづら

No. 25 Uzura.

學名 Coturnix communis, Bonn

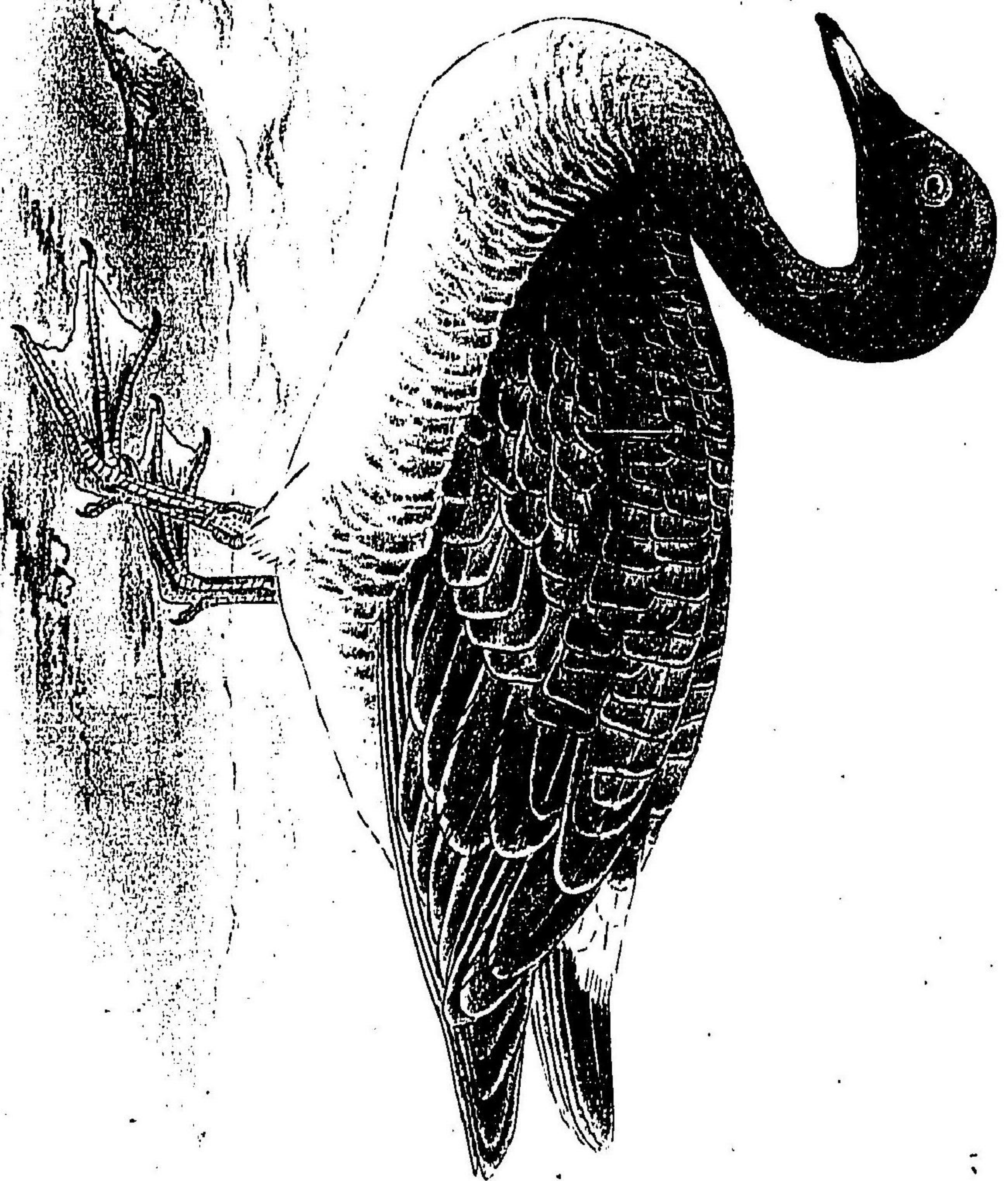
英名 Common quail.

佛名 La caille ordinaire.

うづらハ鶉雞族ノ鳥ニシテ其大サつぐみノ如ク其体ハ
はどりノひなニ似テ丈低シ尾羽ハ極メテ短クシテ殆ド無
キガ如シ全身黄褐色ニシテ黒白ノ斑文アリ雌雄其形ナ
ニスルヲ以テ之ヲ鑑別スルコト甚ダ難シ原野ニ棲息シテ
晝間ハ草伏シ朝暮ニハ出テ、食ヲ求ム一雄數雌ヲ率ヒ四
五月頃十數顆ノ卵ヲ産ス其巢ハ叢藪中ニ草或ハ藁ヲ以テ
之ヲ營ムうづらハ其鳴聲清亮ニシテ尤モ聞クニ堪ヘダリ
故ニ飼鳥トシテ之ヲ玩養スルモノ多シ又鬪争性ヲ有スル

故ニ以太利其他ノ國ニ於テハ鬪雞ノ如クニ鬪争ヲナサ
 シメテ娛樂ニ供スルコトアリ此鳥ハ歐羅巴洲亞非利加洲
 及ビ亞細亞洲ノ大部分ニ於テ之ヲ見ル而シテ南部西比利
 亞ニハ盛ニ棲息ス然レドモ堪察加ニテハ見ルコトナシ亞
 米利加ウヅラト稱スルモノハ全ク別種ナリ

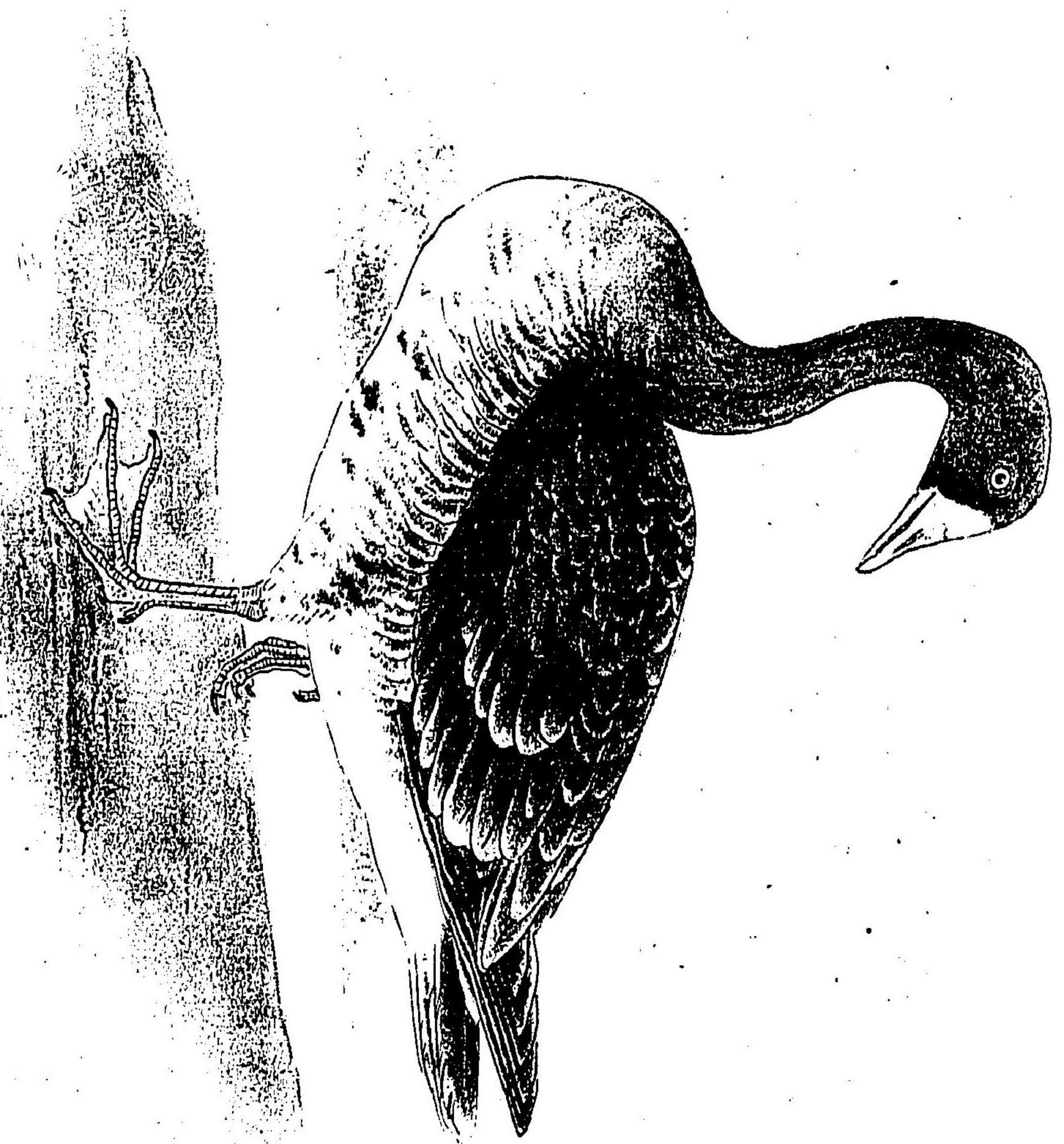
鬪雞ノ種類



第六圖 白鳥

肉ハ脂肪ニ富ミテ味甚ダ美ナリ常ニ群ヲ爲シテ三角形ニ
 列ニ飛翔ス而シテ其嚮導者タル雄ハ必ず角頭ニ立チ其疲
 勞ス則テ下キ其列中ノ一端ニ占位ス此鳥ハ雁ニ同ニ
 九月ノ頃ニ來例翌春三四月ノ候ニ去ル其去來至テ燕ト
 相反ス其體ハ體長ハ十八センチメートルニ達ス其翼長
 ハ因ニ白クニ種ニカフチ酒顔ハ白クハト稱スルモノアリ
 蓋シ其頰部自喉部ニ及ボシテ黄赤色ヲ呈スルヲ以テ
 斯クハ名ヲ命ズタルモノナリ此鳥ハ普通ニ見ルニハト
 其體貌羽色大抵相同シト雖モ少シク小ニシテ且嘴ハ黒
 色ナルガ故ニ之ヲ判別スルコト難カラズ又頭部ヨリ頸
 部及ビ背部ニ亘リテ暗褐色頭部及ビ頸部ノ兩側ハ畧ボ
 白色ナリ

雁中七圖 六十一



第二十七 まがん

No. 27 Magan.

學名 Anser albifrons, Scop.

英名 White-fronted goose.

佛名 L' oie riense.

まがんモ亦扁嘴族ニシテひとくひと同類ニ屬ス然レドモ
ひとくひニ比スレバ其体小ニシテ全長凡ソ二尺三四寸許
アリ体ノ上部即チ頂頸背ノ三部ハ孰レモ茶褐色ヲ呈シ額
部ハ白シ而シテ下部殊ニ胸部ニハ黒斑アリ翼ノ大羽ハ殆
ト黒色ナリ尾ハ十六枚ヨリ成リテ翼ヨリモ短シ嘴及ビ脚
ハ共ニ橙黄色ナリ嘴縁ニハ齒狀物ヲ有スひとくひと同シ
ク候鳥ニシテ仲秋ニ來リ仲春ニ去ル其鳴聲甚ダ清亮ニシ
テ肉味亦頗ル佳美ナリまがん及ビひとくひと共ニ飼養ス

ル田也得ルオリ又此ニ鳥ハ北緯五十度以上ニ寒地ニ
 四季共ニ棲ミ二十五度以下ノ赤道ニ近キ處ニ會テ來ル
 可トナシテサレバニヤ本邦ニテモ沖繩地方ニ於テ之
 ナ見ルコトアラズ大抵ニ鳥ノ種類ニテハ大抵ハ冬
 季ニ南ニ飛テ去リ夏季ニ北ニ飛テ來ルニ似テ居ル
 鳥ノ類ハ土著ノ鳥類ニテハ三羽ノ鳥ノ類ニテハ冬
 季ニ南ニ飛テ去リ夏季ニ北ニ飛テ來ルニ似テ居ル
 鳥ノ類ハ土著ノ鳥類ニテハ三羽ノ鳥ノ類ニテハ冬
 季ニ南ニ飛テ去リ夏季ニ北ニ飛テ來ルニ似テ居ル

鳧

鳧

鳧モ亦扁嘴族ナリ嘴ハ匾大ニシテ其端末ハ其根基ヨリ或
 ハ廣濶ナルモノアリ或ハ同一ナルモノアリ上嘴ハ下嘴ヲ
 包容シ嘴縁ニ齒狀物ヲ具フ首ハ長ク脚ハ短ク且後方ニ偏
 倚スルヲ以テ行歩甚ダ拙ナレドモ飛翔頗ル迅速ニシテ頗
 ル高騰シ又水中ニ潛泳スルコト極メテ巧ナリ脚ニハ三趾
 ナ具ヘ趾ト趾トノ間ニハ蹼アリ多クハ水上ニ棲息シテ植
 物又ハ蠕蟲ヲ食ヒ時トシテハ魚類ヲモ食フ北國ニテハ水
 邊ノ樹下又ハ蘆葦ノ中ニ巢ヲ營ミ卵ヲ産ス此鳥類ハ雌雄
 其羽色ヲ異ニシテ雄ハ羽毛ノ色彩甚ダ美ナリ雌雄共ニ肉
 味尤モ宜シ鳧ハ本邦ニ四時棲息スルモノモアレドモ多ク
 ハ冬季ヲ中和帶國ニ過シ春季ヲ經テ極北ノ國ニ歸去ス而

シテ一去一來長途飛翔ヲ爲スヲ常トス種類極メテ多キ如
 故ニ今其内ノ數種ヲ舉グ
 其ノ一 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ二 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ三 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ四 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ五 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ六 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ七 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ八 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ九 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、
 其ノ十 鴨ノ類ニ屬スル者ニシテ、

第八圖 鴨ノ類



第二十八 まがも

又あをくび

No. 27 Ma-gamo.
Aokubi.

學名
Anas boschas, L.

英名
Mollard.

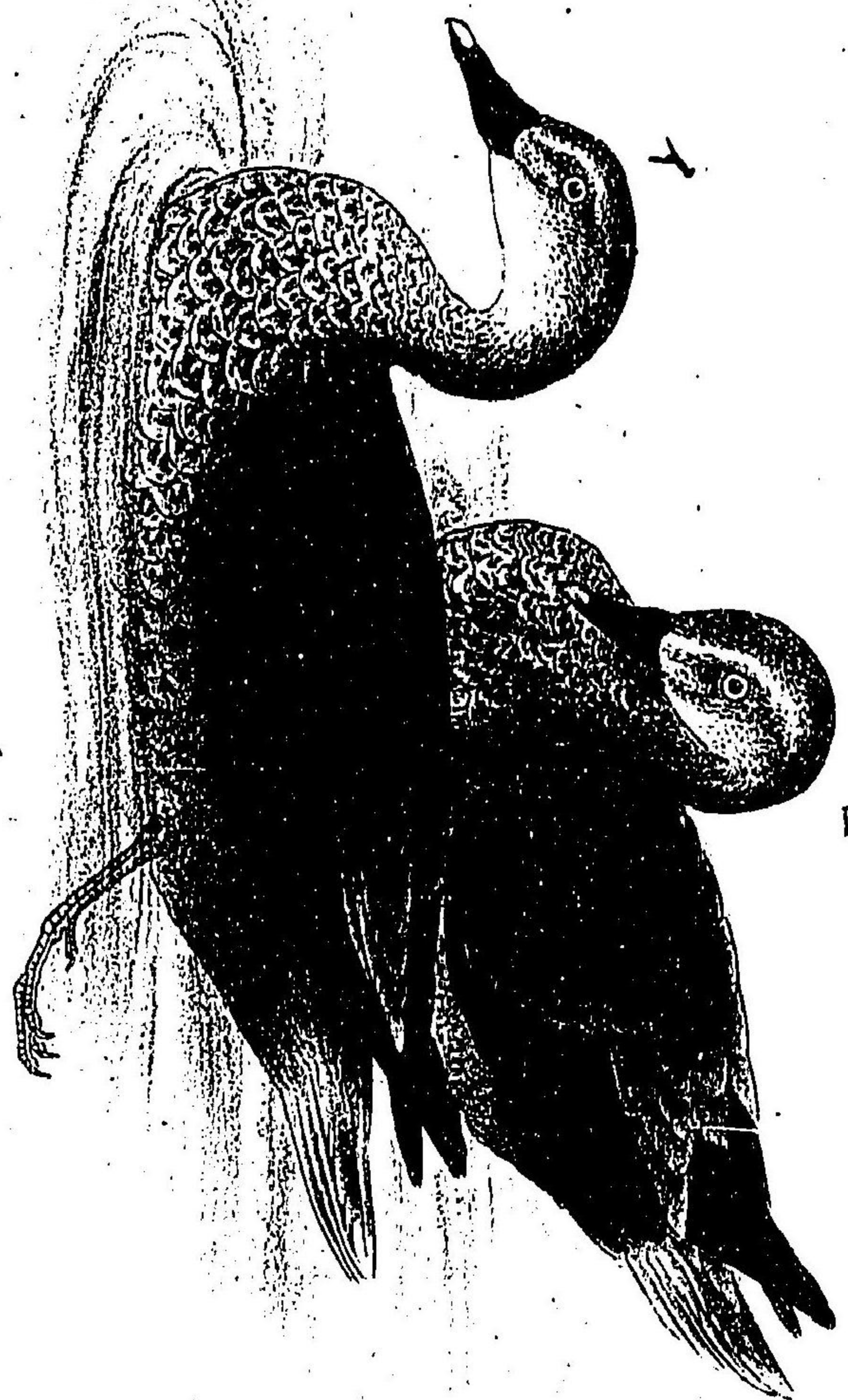
佛名
Le canard sauvage.

此種ハ嘴黄綠色ニシテ其根基ト端末トハ畧ボ其廣サヲ同
フシ脚ハ橙黄色ニシテ蹠ハ少シク暗濁色ヲ帯ビ尾ハ十六
枚ヨリ成レリ雄ノ体羽ハ頗ル美麗ニシテ其頭部及ビ頸部
ハ共ニ濃綠色ヲ呈シ白條アリテ頸部ヲ圍繞シ背部ハ灰褐
色ト白様鼠色トヲ混シ胸部ハ濃栗色ニシテ上層ナル尾羽
ノ端末反卷ス雌ハ全身茶褐色ニシテ黒斑ヲ雜フ晨夜群ヲ
爲シテ起翔シ田澤又ハ池沼ニ棲息シテ穀類若クハ蟲類ヲ
啄ム肉味極メテ佳美ナリ

因三日クあひるハ全クまがもノ變生ナルガ故ニ家覺又

家鴨ノ名アリ...

家鴨ノ名アリ



第廿九圖 鴨ノ如ク 四ノ一

第二十九 かるがも

又なつがも

No. 29 Karu-gamo,
Natsu-gamo.
學名 Anas zonorhyncha, S. W.
英名 Dusky mallard.
佛名 Le canard brun.

此種ハ大サ羽色共ニ暑ボまがもニ同シ然レドモ概シテ暗
黒色ヲ含ミテ鮮麗ナラズ而シテ雄ト雖モ頭部及ビ頸部ニ
綠色ヲ帶ブルコトナシ又まがもハ雌雄其羽色ヲ異ニスレ
ドモかるがもニ在リテハ雌雄ノ間ニ大差ヲ見ズかるがも
ハ其鳴聲ニ取リテ名ケタルモノナリ此鳥ハ四時ヲ通シテ
棲息シ春ニ至ルモ北地ニ歸ルコトナク本邦ニ於テ蕃殖ス
東京近傍ニテハ河畔ノ蘆葦中ニ蠶雜ナル巢ヲ營ミテ五月
中旬ヨリ卵ヲ産シ水田ノ粃種ヲ食ス而シテ秋ノ頃ヨリハ

第三十 をしどり

No. 30 Oshidori.

學名 *Anas galericulata*, L.

英名 Mandarin duck.

佛名 Le canard de chine.

此種ハかもニ比スレバ其体小ニシテ雄ハ美シキ羽冠ヲ戴
キ臂羽ノ一對ハ銀杏羽ヲ成シテ其艶麗ナルコトハ世人ノ
能ク知ル所ナリ雌ハ鮮ナラズ全身蒼褐色ニシテ眼ノ後部
ニ白色ノ斑文ヲ具フ冬間ハ沼池ニ游泳シ夏季ハ山中ノ溪
畔又ハ池邊ニ棲息シテ北地ニ歸ルコトナシ雌雄偶處シテ
須臾モ相離レズ纏綿ノ情尤モ濃ナルヲ以テ匹鳥ノ名アリ

第三十一 よしがも

No. 31 Yoshi-gamo.

學名

Anas falcata, Georg.

英名

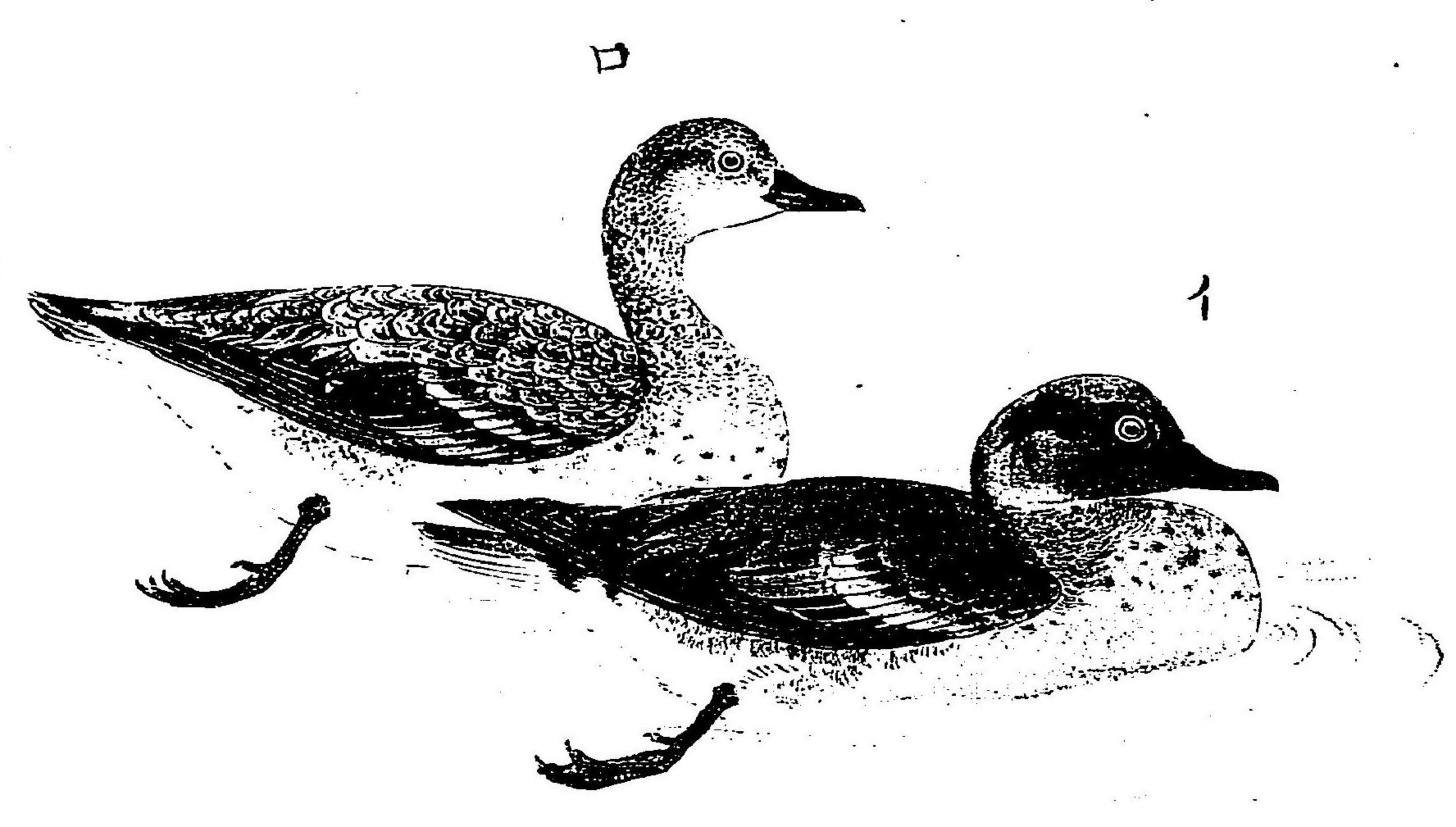
Falcated teal.

佛名

La sarcelle falcate.

此種ハこがもト殆ト同大ニシテまがもヨリハ著ルク小ナ
リ背部ニ蒼灰色ノ美シキ長羽アリ腹部ハ淡白色ナリ而シ
テ翼ニハ青色ノ羽ヲ雜フ其脚ハ黄赤色ニシテ肉味ハ頗ル
佳美ナリ或ル地方ニテハこまつくり又ハこまきこだれざ
きト稱シ畿内ニテハむかふすゝかもト云ヒ鳥肆ニテハマ
よしト云フ此鳥ハマがも及ビこがも等ト同シク北地ニ歸
リ去ルナリ

第三十二圖
 こかも
 三ノ一



第三十二圖
 こかも
 三ノ一

第三十二 ことがも

No. 32 Ko-gamo.

學名 Anas crecca, L.

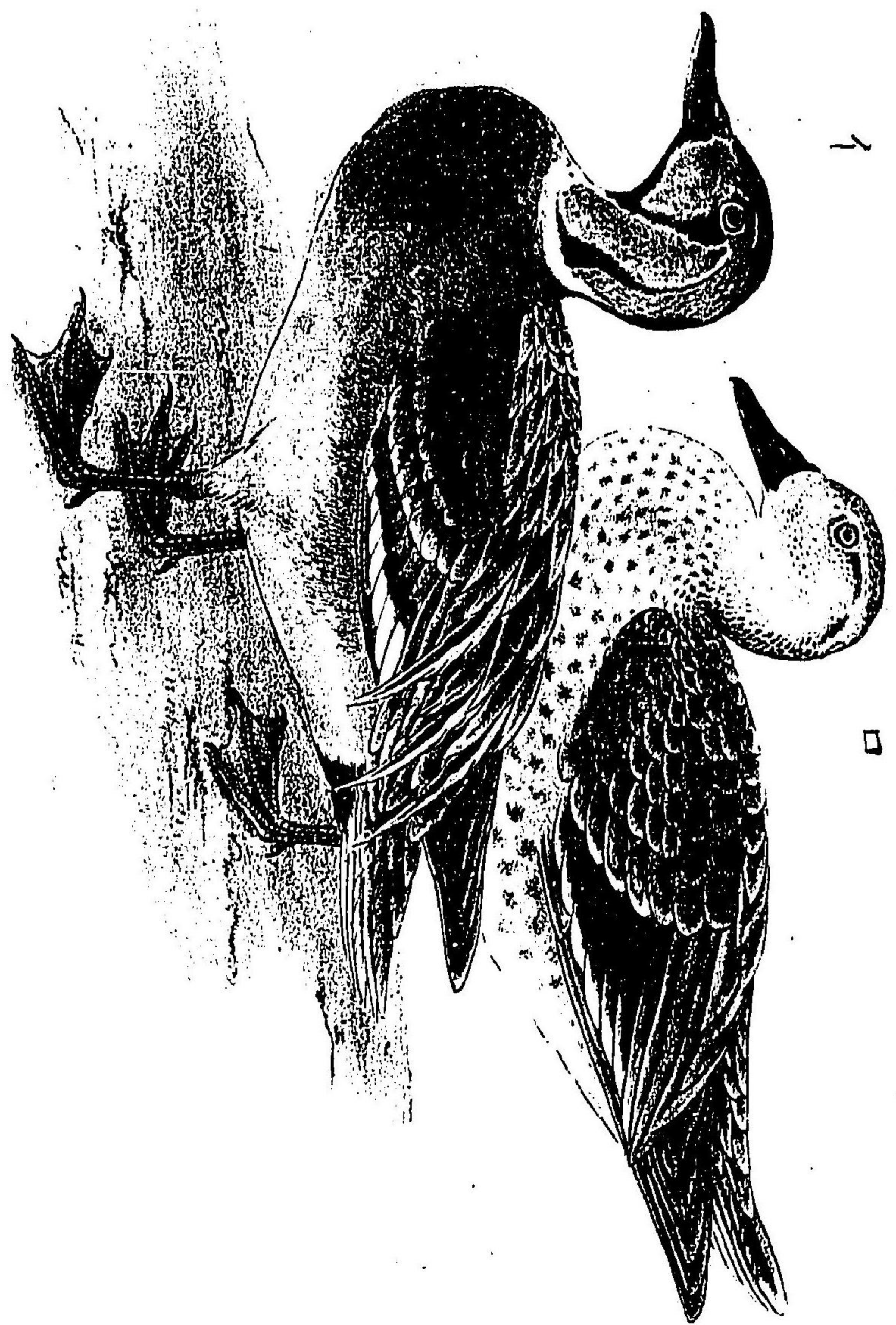
英名 Common teal.

佛名 La sarcelle ordinaire.

此種ハ前種ト畧ボ其大サヲ同フシ鶩類中ノ最モ矮小ナルモノナリ故ニことがも(小鶩)ノ名アリ全身淡茶色ニシテ体ノ或部分ニハ多少ノ黒斑アリ翼ニハ白帶ト綠帶トヲ具フ腹部ハ類白色ニシテ嘴ハ暗色脚ハ灰白色ナリ而シテ洗毛ノ已ニ完成シタル雄ニ在リテハ頰及ビ頸ニ栗色ノ部分アリ然レドモ雌ニハ之ヲ見ズ肉味ノ佳美ナルコトハ敢テ言ハズ本邦ニ於ケル所ノ種類ハ歐羅巴洲ニ於テ目撃スル所ノモノト全ク同一ナリ西比利亞地方ニハ尤モ多ク

棲息於印度士丹之毛棲息於亞非利加洲之北部三於之毛

亦見於所ナリ...



第三圖 水鳥也 二分一

第三十三 ともゑがも

又あちがも

No. 33 Tomoye-gamo,
Aji-gamo.

學名
Anas formosa, Georg.

英名
Spectacled teal.

佛名
La sarcelle orientale.

此種ハ其体こがもヨリモ少シク大ニシテ雄ハ頰部ニ淡黄色ナル巴様ノ紋形アリ是ともゑがもノ名ヲ得タル所以ニシテ他種ト識別スルコト極メテ易シ而シテ雌ハ其被羽ノ艶麗ナラザルコト猶他ノ鳥類ニ於ケルガゴトシ此鳥ハたかへノ類ナルヨリシテ仙臺地方ノ方言ニテハ高麗^{コウレイ}たかぶト呼ブ蓋シたかぶハたかへノ轉訛^{テウシ}ナルベシトノ説アリ

第三十四

をなががも

No. 34 Onaga-gamo.

學名

Anas acuta, L.

英名

Pintail.

佛名

Le canard pilet.

此種ハ形貌畧ボマガモニ類スレドモ其体ハ稍小ナリ羽ノ
已ニ完成シタル雄ニ在リテハ中央ノ二羽甚ダ長ク且尖レ
リ是をながも(尾長)ノ稱アル所以ニシテ亦他種ト識別シ
易シ其他頭部及ビ頸部ハ暗褐色ニシテ眼邊ヨリ腹部ニ及
ボシ白色ナリ雌ハこがもノ雌ト殆ト羽色ヲ同フス又雄ニ
在リテハ綠色ノ帶アリ雌ニアリテハ赤褐色ノ帶アリ肉味
ハ頗ル佳美ナリ此鳥ハ北半球ノ寒帶及ビ中和帶ニ於テ見
ル所ニシテ本邦ニ棲息スルモノモ亦敢テ異ナル所ナシ

第三十五 ひどりがも

又あかゞしら

No. 35 Hidori-gamo,
Akagashira.

學名
Anas penelope, L.

英名
Widgeon.

佛名
Le canard siffleur ordi-
naire.

此種ハ俗ニ俳鳥ト稱スルモノニシテ普通ノ鳥ハ十六枚ノ
尾アレドモひどりがもハ十四枚ナリ雄ニアリテハ頭部赤
ク羽ニ綠色ノ帶アリ又雌ニアリテハ灰色ノ帶アリ而シテ
胸部及ビ腹部ノ白色ナルハ雌雄相同シ本邦ニ棲息スルモ
ノト歐羅巴洲ニ棲息スルモノトハ毫モ異ナル所ナシ西比
利亞、堪察加等ニ於テモ亦見ル所ナリ

脚ハ四趾ヲ具ヘ連蹠ヲ有セズ常ニ河海湖池沼澤等ノ畔ニ
 棲息シテ昆蟲又ハ蠕蟲ノ類ヲ啄食ス飛翔スルコト甚ダ輕
 捷ニシテ歩走スルコトモ亦頗ル迅速ナリ其種類頗ル多シ
 ト雖モ其中普通ト認ムルモノ二種ヲ舉グ

鵞

鵞

鵞ハ涉禽族ノ候鳥ニシテ嘴ハ直長細軟ナリ眼ハ高ク位シ
 脚ハ四趾ヲ具ヘ連蹠ヲ有セズ常ニ河海湖池沼澤等ノ畔ニ
 棲息シテ昆蟲又ハ蠕蟲ノ類ヲ啄食ス飛翔スルコト甚ダ輕
 捷ニシテ歩走スルコトモ亦頗ル迅速ナリ其種類頗ル多シ
 ト雖モ其中普通ト認ムルモノ二種ヲ舉グ

第三十六 ぢしぎ

又たしぎ
ましぎ

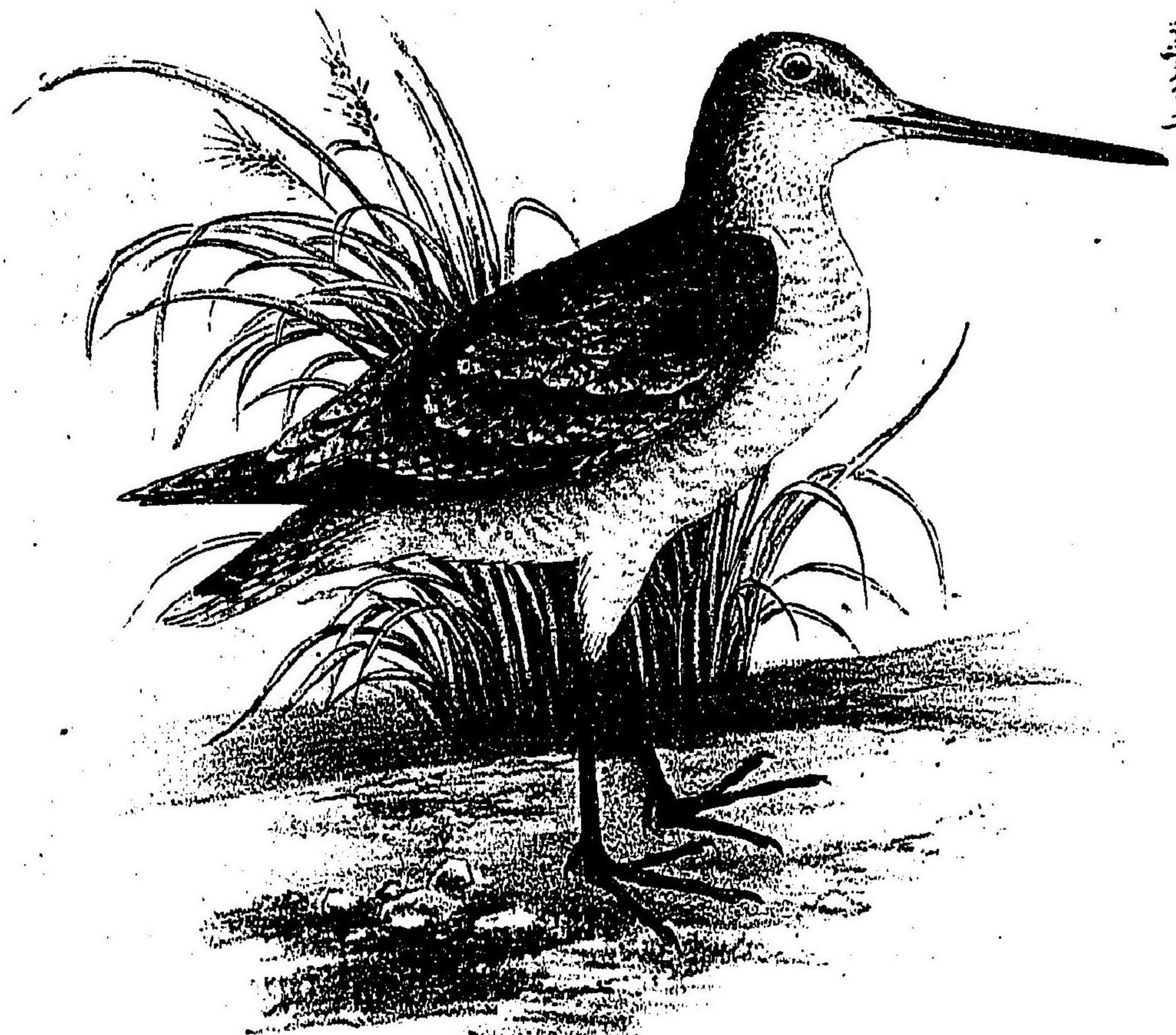
No. 36 Ji-shigi,
Ta-shigi, Ma-shigi.
學名
Scolopax gallinago, L.
英名
Common snipe.
佛名
La bécassine ordinaire.

此種ハ嘴ノ長サ二寸二三分アリテ翼角ヨリ最長羽ノ端末
マデ四寸一二分アリ尾羽ハ十四枚ヨリ成リ其幅廣クシテ
最外側ノモノト雖モ四分ナ下ラス頭部及ビ背部ハ濃褐色
シテ淡黒色ノ斑文アリ尾毛亦同色ニシテ其端末白ク翼ハ
淡黒腹部純白ニシテ斑文ナシ雌雄ノ區別甚ダ判明ナラ
ズ此鳥ハ歐羅巴洲亞細亞洲共ニ棲息シ亞細亞洲ニテハ夏
季ハ西北利亞地帯ニ去リ冬季ハ錫倫島印度非立比島等ニ
マデ徙リ本邦ニテハ秋季ヨリ翌年ヲ春季ニ通シテ水田或

ハ沼澤等水ノアル場處ニ多ク棲ミ軟泥中ニ潜在ス水所ノ
 蟲類ヲ啄ミ食ス然レドモ夏季ニハ留マラズ但北海道ニテ
 ハ或ハ蕃殖スルコトアルヤモ知レザレドモ十分ナル證據
 ナ得ズト云フ其肉頗ル美味ナリ之ヲ飼鳥トナストキハ容
 易ニ人ニ馴レ且其舉動ノ頗ル奇ナルヲ以テ玩養スルニ足
 レリ

第三十七圖 ヤマシギ

第三十七圖 ヤマシギ 三ヶ一



第三十七

やましぎ

又ぼとしぎ
やぶしぎ

No. 37 Yama-shigi,
Boto-shigi, Yabu-shigi.

學名
Scelopax rusticola, L.

英名
Wood-cook.

佛名
La becasse

此種ハ前種ヨリ著ルク大ニシテ嘴ハ其長サ凡ソ二寸四五
分アリ暗色ニシテ上嘴ハ下嘴ヨリ長ク其端末圓形ヲナセ
リ脚ハ灰色ニシテ細長ナリ背上ハ鱗赤色多ク黒色ト淡茶
色トノ斑文アリ胸部及ヒ腹部ハ一樣ニ淡茶色ニシテ暗色
ノ横線アリ翼羽ニ赤茶若クハ淡茶ト黒トノ鷹斑ヲ具フ尾
ハ十二枚ヨリ成リテ其幅廣ク下面ヨリ之ヲ見ルトキハ大
半黒色ニシテ其端末白色ナリ此鳥ハ歐羅巴洲ヨリ亞細亞
洲ニテハ土耳其斯坦喜馬拉西比利亞ノ南部滿州支那ノ北

部及ヒ本邦ニマダ棲息ス本邦其クハ冬季各處ニ於テ之ヲ
 見ル就中九州地方ニ多シ而シテ春初ヨリハ大抵去テ北海
 道千島黒龍江地方及ヒ西比利亞ノ東部等ニ至リ蕃殖ヲ爲
 スハシハシシキシ落葉枯草等ノ多キ乾燥地ヲ好シテ棲メトモ
 其近傍ニハ卑濕シノ場處ヲルヲ要ス其故ハ他ノシキ類ト同
 シシ水邊ニ於テ蠕蟲若クハ昆蟲類ヲ啄ムモノヲ採レバナリ
 而シテ日中ニハ林藪中ニ潜伏シ日出前日没後ニハ空中ニ
 飛翔シ然レ後其餌食ノアル處ニ向テ飛ビ去ルヲ常トス肉
 味ノ美ナルコトハ敢テ前種ニ譲ラズ

第三十八圖

どん

三カ一

